

知立市
男女共同参画に関する調査
【結果報告書】

令和5年6月

知立市

目次

I	調査の概要.....	1
II	市民意識調査 調査結果.....	3
1	あなた（回答者）ご自身のことについて.....	4
2	男女平等に関する意識について.....	9
3	DV（ドメスティック・バイオレンス）について.....	14
III	中生意識調査 調査結果.....	19
1	あなた（回答者）ご自身のことについて.....	20
2	男女共同参画の意識について.....	20
3	男女間の暴力について.....	25
IV	職員意識調査 調査結果.....	29

I 調査の概要

1 調査の概要

(1) 調査目的

本調査は、知立市民の男女共同参画の意識や実態を把握し、「第3次知立市男女共同参画プラン」見直しのための資料とすることを目的として実施しました。

(2) 調査概要

区分	一般市民(1)	一般市民(2)	中学生	職員
対象者	令和5年4月現在、知立市に居住している20歳以上の市民	令和5年4月現在、知立市に居住している20歳以上の市民	平成5年5月現在、市内の中学校に通う中学2年生	令和5年4月現在、知立市役所に勤める職員
配布数	—	男性：1,000人 女性：1,000人 合計：2,000人	男性：364人 女性：289人 合計：653人	合計：496 (会計年度任用職員除く)
調査方法	広報・LINEによる配布 インターネットによる回答	郵送配布 インターネットによる回答・直接回収	市内の全中学校で直接配布 インターネットによる回収	庁内のネットワークシステムを利用した配布・回収
回収数	1063	470	534	479 (うち会計年度任用職員除く357)
有効回収件数	1063	470	534	479 (うち会計年度任用職員除く357)
有効回収率	—	23.5%	81.8%	— (うち会計年度任用職員除く72.0%)

(3) 報告書の見方

●集計について

本報告書では、設問ごとに全体の集計結果を記載しています。

●「%」について

グラフ中の「%」は、単数回答の設問（1つだけに○をつけるもの）であっても、合計が100%にならない場合があります。また、複数回答の設問の場合（あてはまるものすべてに○をつけるもの等）は、各設問に該当する回答者総数に対する各選択肢の回答者数の割合を示しています。

●選択肢の記載について

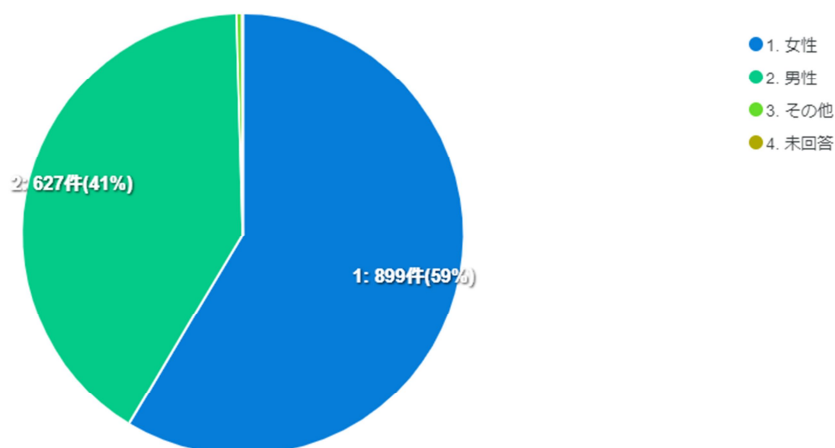
グラフ中の選択肢は、原則として調査票に記載された表現のまま記載しています。

II 市民意識調査 調査結果

1 あなた（回答者）ご自身のことについて

問1 性別（どちらかに○）

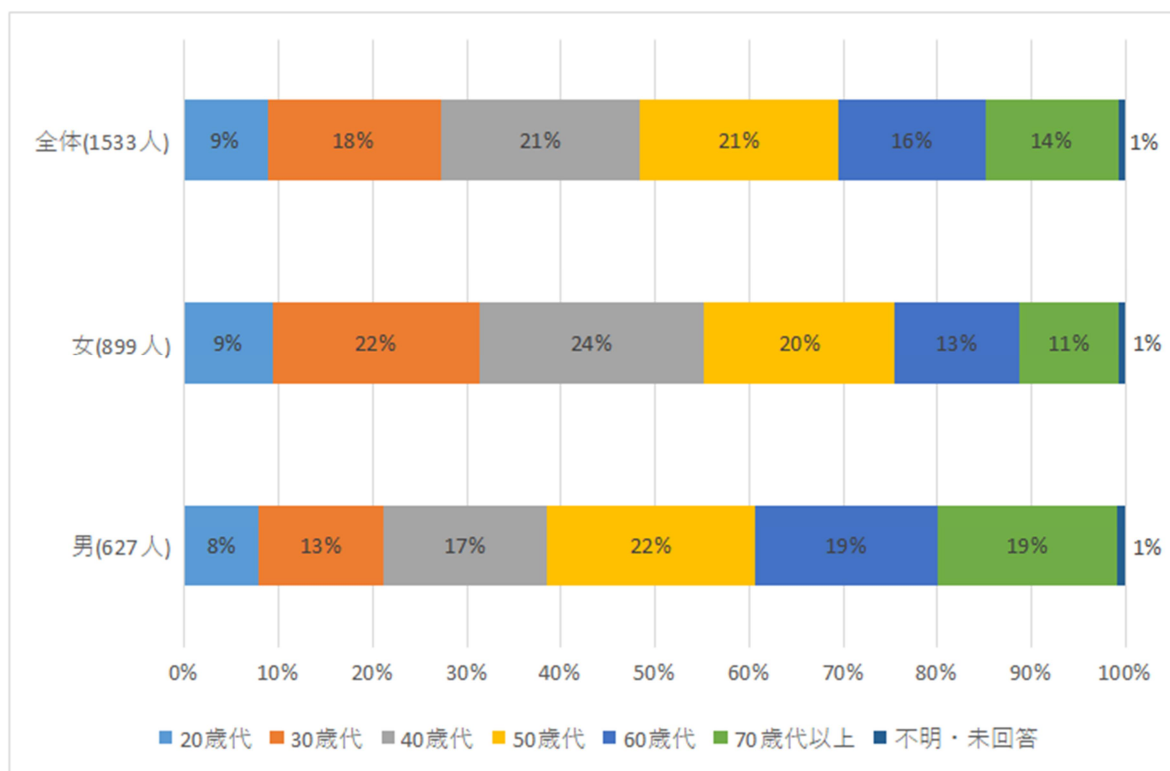
性別は、全体で「女性」が59%、「男性」が41%となっています。



問2 年齢（数字を記入）

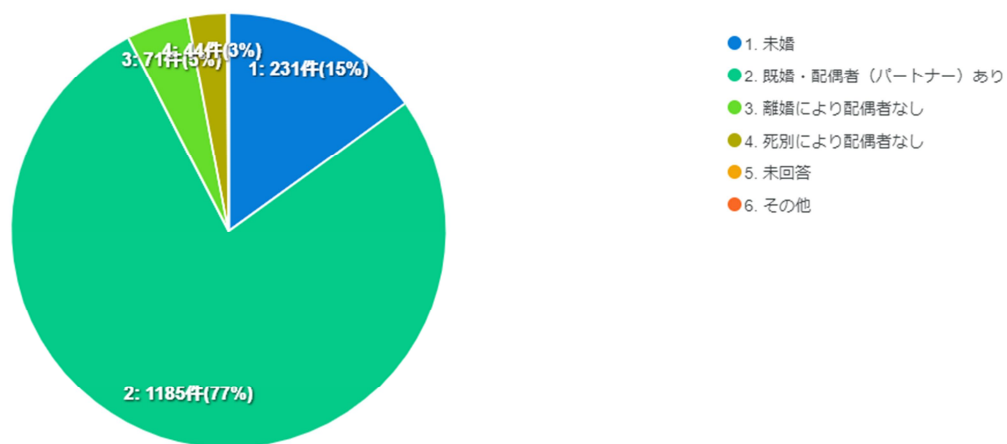
年齢は、全体で「40歳代」、「50歳代」が21%と最も高くなっています。

性別では、女性では「40歳代」が24%、男性では「50歳代」22%と高くなっています。



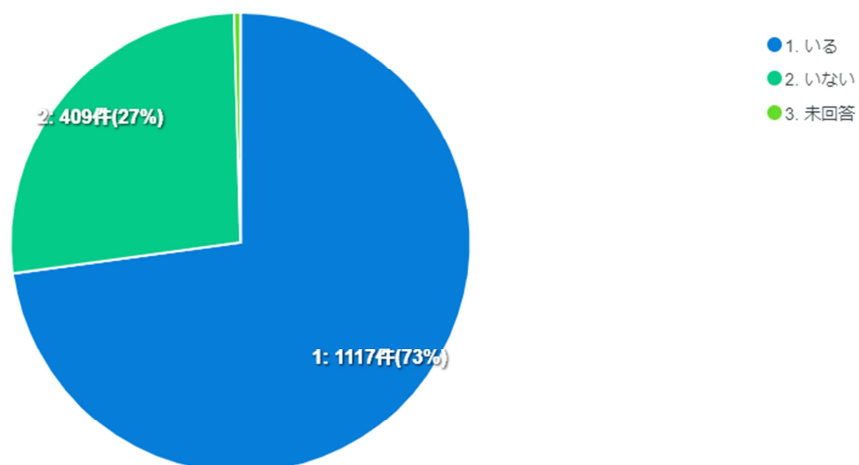
問3 あなたは結婚(事実婚を含む)しておられますか。(○は1つだけ)

結婚(事実婚を含む)しているかは、全体で「既婚・配偶者(パートナー)あり」が77%と最も高く、次いで「未婚」が15%となっています。



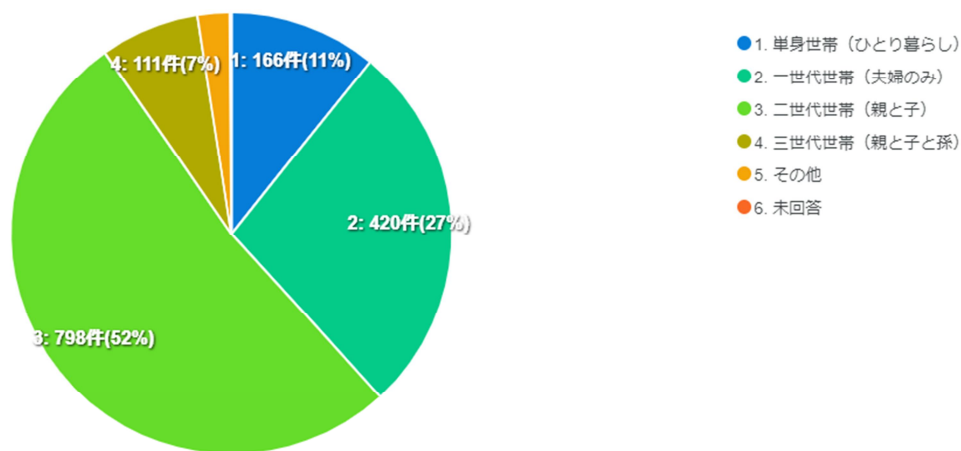
問4 あなたにはお子さんがおられますか。(別居を含む)(どちらかに○)

子どもの有無は、全体で「いる」が73%、「いない」が27%となっています。



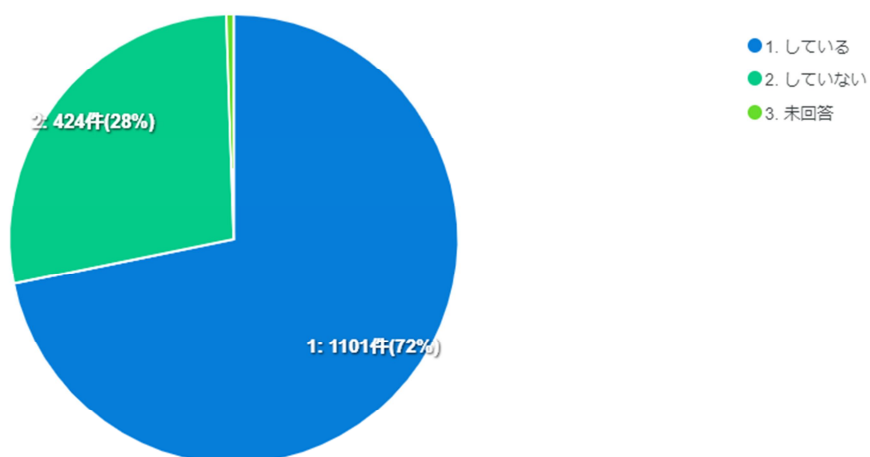
問5 あなたの家族構成は次のどれですか。(○は1つだけ)

家族構成は、全体で「二世世代世帯（親と子）」が52%と最も高く、次いで「一世代世帯（夫婦のみ）」が27%となっています。



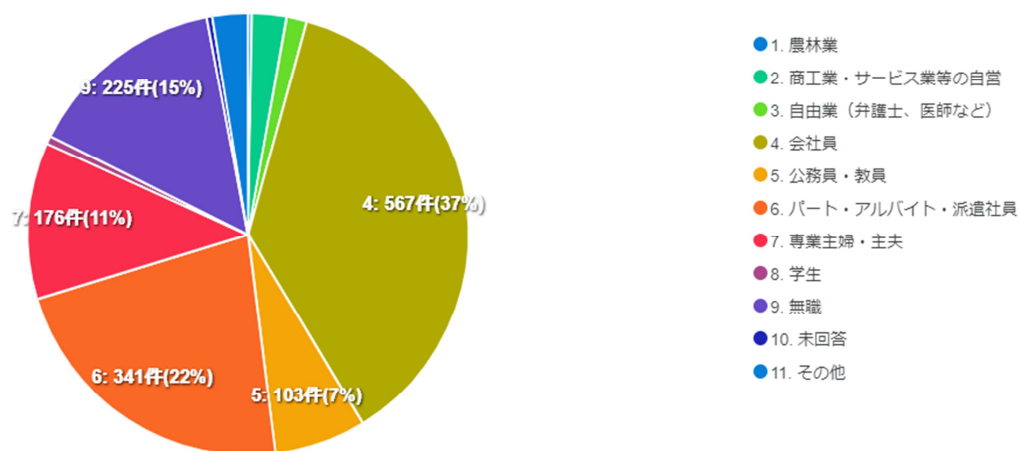
問6 あなたは、現在収入を得る生活をしていますか。(どちらかに○)

現在収入を得る仕事をしているかは、全体で「している」が72%、次いで「していない」が28%となっています。



問7 あなたの職業は何ですか。(〇は1つだけ)

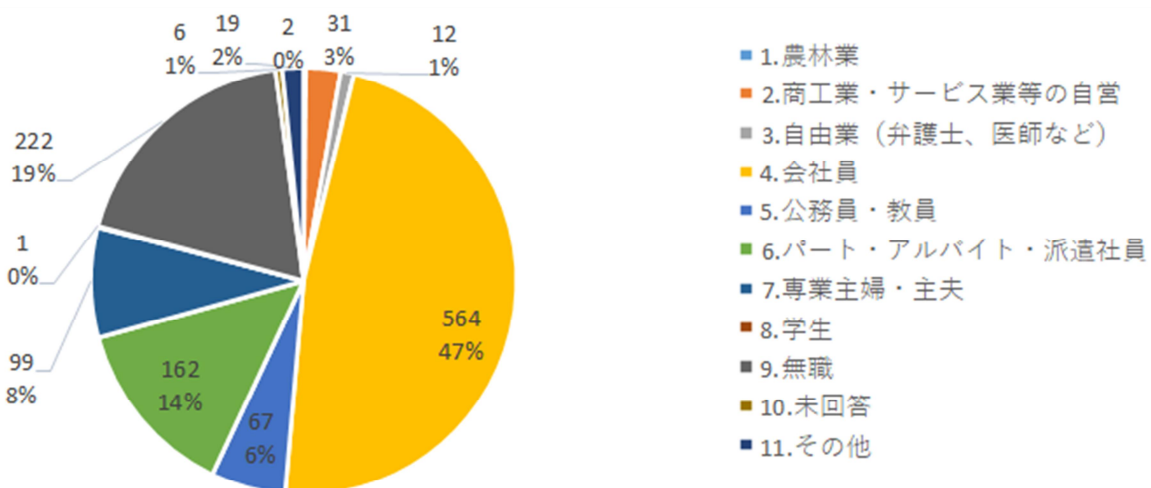
職業は、全体で「会社員」が37%と最も高く、次いで「パート・アルバイト・派遣社員・契約社員」が22%となっています。



<問3で「2 既婚・配偶者(パートナー)あり」と答えた方におたずねします>

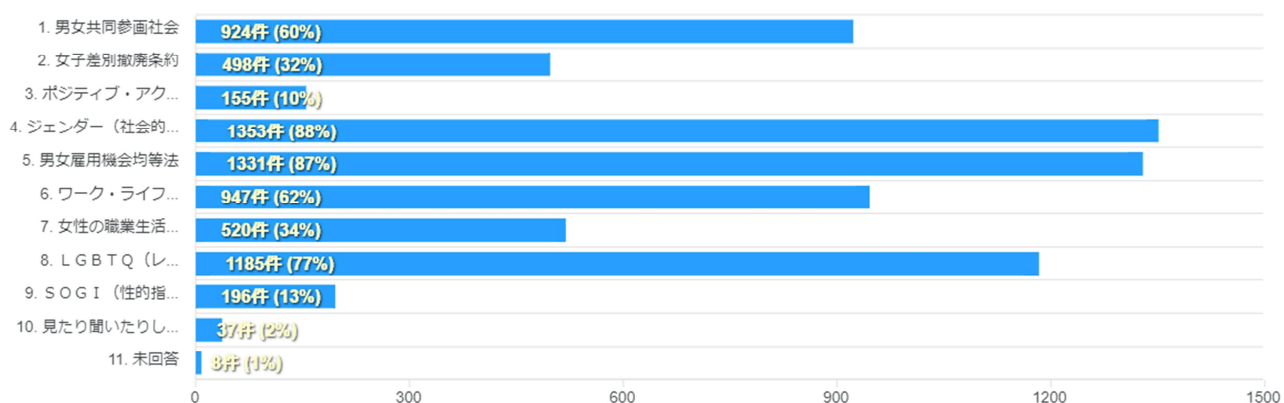
問8 あなたの配偶者・パートナーの職業は何ですか。(〇は1つだけ)

配偶者・パートナーの職業は、全体で「会社員」が47%と最も高く、次いで「無職」が19%となっています。



問9 次にあげる言葉のうち、あなたが見たり聞いたりしたことがあるものはどれですか。
(あてはまるものすべてに○)

見たり聞いたりしたことがあるものは、全体で「ジェンダー（社会的性別）」が88%と最も高く、次いで「男女雇用機会均等法」が87%となっています。



2 男女平等に関する意識について

問 10 あなたは、次あげるような分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。各項目についてあなたのお考えに最も近いものをお答えください。(①～⑧それぞれ○は1つだけ)

- ①家庭生活 ②職場 ③地域活動の場 ④学校教育の場 ⑤法律や制度の上
⑥社会通念・慣習・しきたりなど ⑦政治の場 ⑧社会全体として

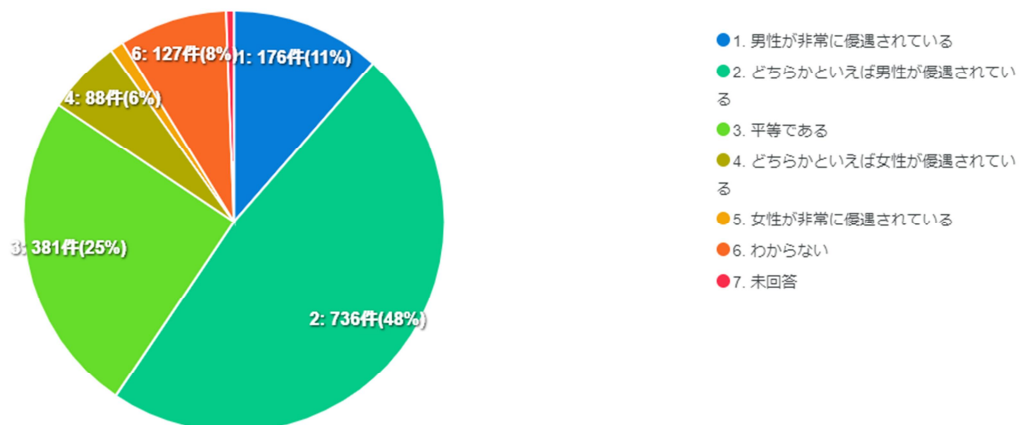
問 11 の選択肢にかかる表現は以下のように区分しています。

『男性優遇』…「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合算

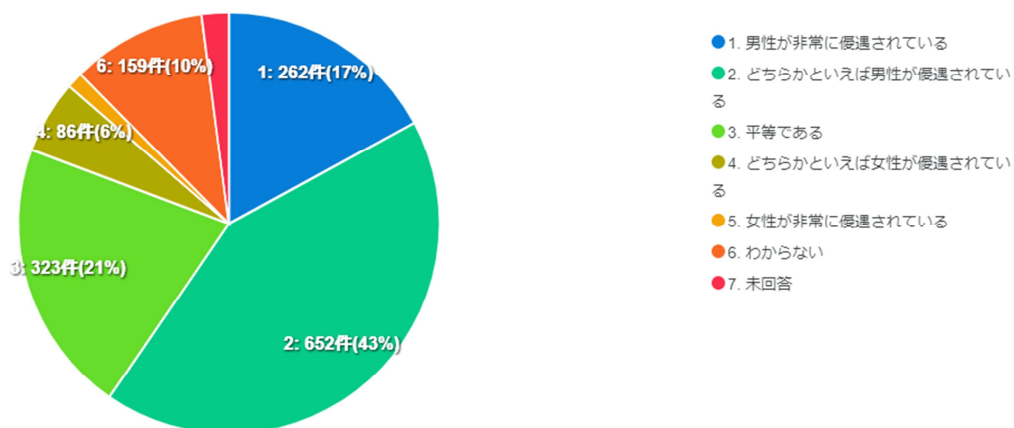
『女性優遇』…「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」を合算

各分野での男女の平等意識について、最も「平等である」が高い分野は「④ 学校教育の場」となっています。『男性優遇』が高い分野は、「⑥ 社会通念・慣習・しきたりなど」「⑦ 政治の場」「⑧ 社会全体として」で7割を超えています。

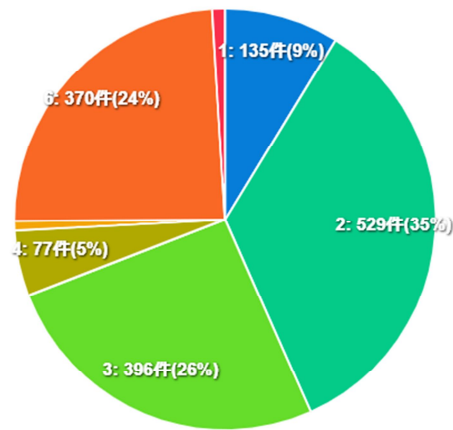
①家庭生活



②職場

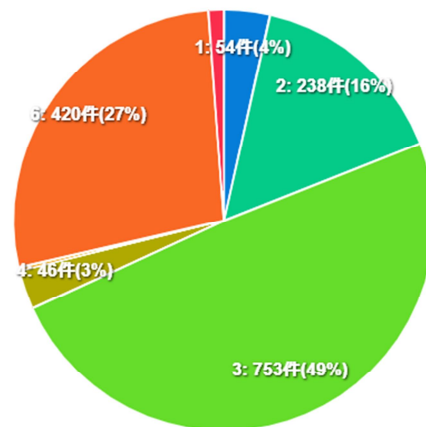


③地域活動の場



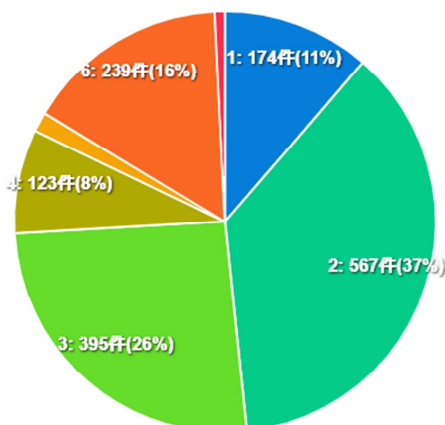
- 1. 男性が非常に優遇されている
- 2. どちらかといえば男性が優遇されている
- 3. 平等である
- 4. どちらかといえば女性が優遇されている
- 5. 女性が非常に優遇されている
- 6. わからない
- 7. 未回答

④学校教育の場



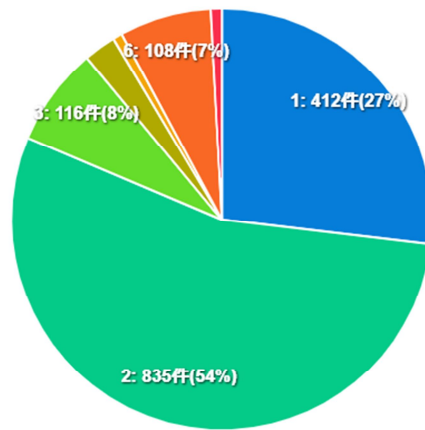
- 1. 男性が非常に優遇されている
- 2. どちらかといえば男性が優遇されている
- 3. 平等である
- 4. どちらかといえば女性が優遇されている
- 5. 女性が非常に優遇されている
- 6. わからない
- 7. 未回答

⑤法律や制度の上



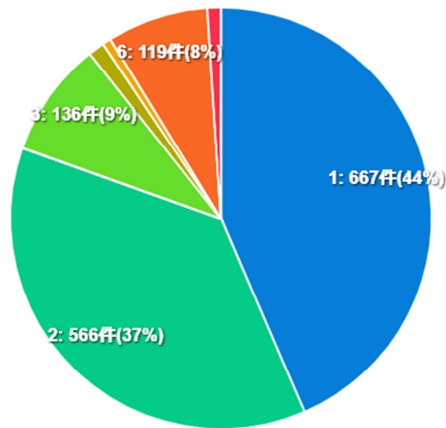
- 1. 男性が非常に優遇されている
- 2. どちらかといえば男性が優遇されている
- 3. 平等である
- 4. どちらかといえば女性が優遇されている
- 5. 女性が非常に優遇されている
- 6. わからない
- 7. 未回答

⑥社会通念・慣習・しきたりなど



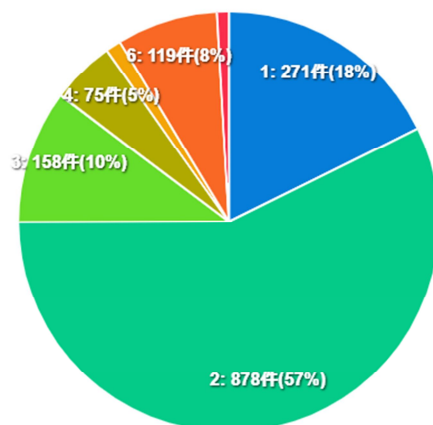
- 1. 男性が非常に優遇されている
- 2. どちらかといえば男性が優遇されている
- 3. 平等である
- 4. どちらかといえば女性が優遇されている
- 5. 女性が非常に優遇されている
- 6. わからない
- 7. 未回答

⑦政治の場



- 1. 男性が非常に優遇されている
- 2. どちらかといえば男性が優遇されている
- 3. 平等である
- 4. どちらかといえば女性が優遇されている
- 5. 女性が非常に優遇されている
- 6. わからない
- 7. 未回答

⑧社会全体として

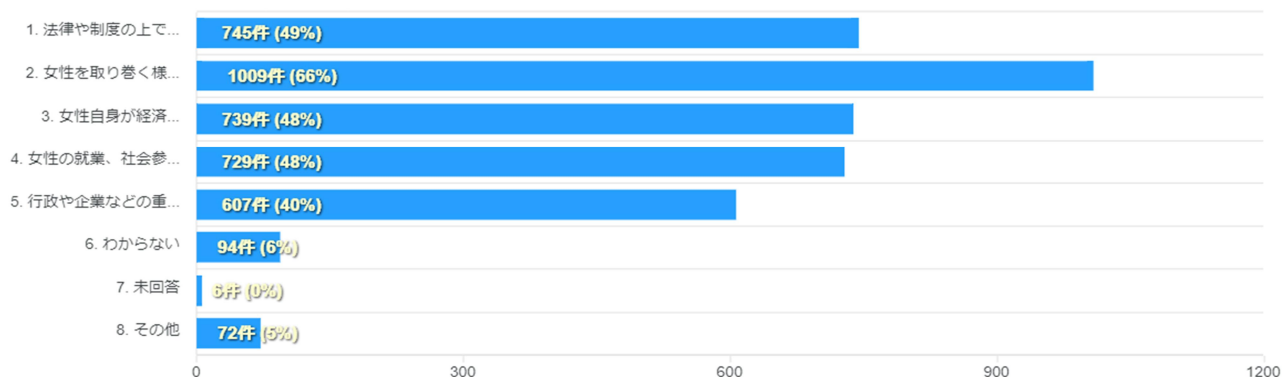


- 1. 男性が非常に優遇されている
- 2. どちらかといえば男性が優遇されている
- 3. 平等である
- 4. どちらかといえば女性が優遇されている
- 5. 女性が非常に優遇されている
- 6. わからない
- 7. 未回答

問 11 男女平等の社会にするためには、どのようなことが必要だと思いますか。

(あてはまるものすべてにチェック)

男女平等社会に必要なことは、全体で「女性を取り巻く様々な偏見、固定的な社会通念、慣習・しきたりを改めること」が66%と最も高く、次いで「法律や制度の上での見直しを行い、性差別につながるものを改めること」が49%となっています。



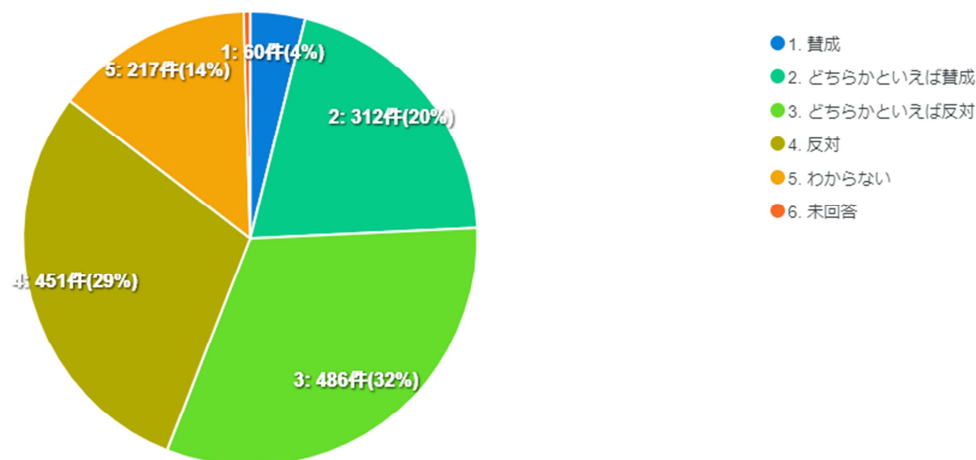
問 12 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、あなたはどうお考えですか。(○は1つだけ)

問 12 の選択肢にかかる表現は以下のように区分しています。

『賛成』…「賛成」と「どちらかといえば賛成」を合算

『反対』…「反対」と「どちらかといえば反対」を合算

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方は、全体で『賛成』が24%、『反対』が61%となっています。



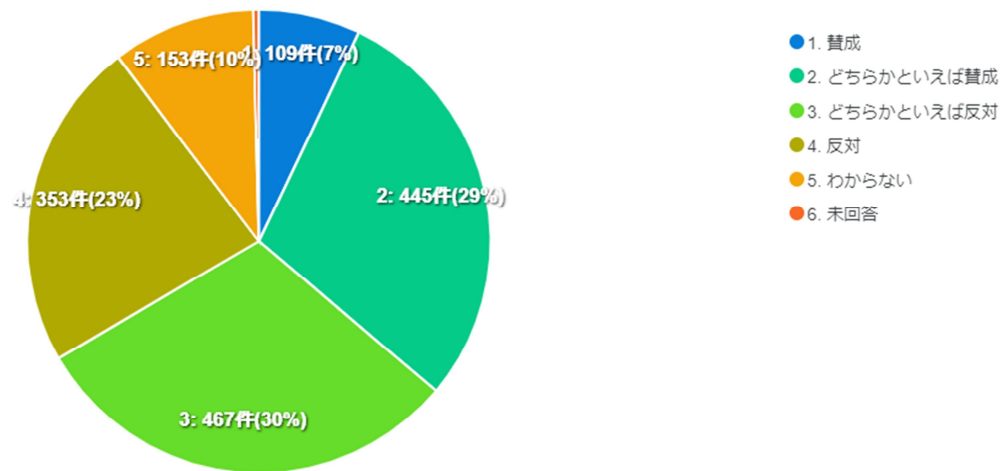
問 13 あなたは「女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしく」という子どもの育て方、しつけについてどう思いますか。(○は1つだけ)

問 13 の選択肢にかかる表現は以下のように区分しています。

『賛成』…「賛成」と「どちらかといえば賛成」を合算

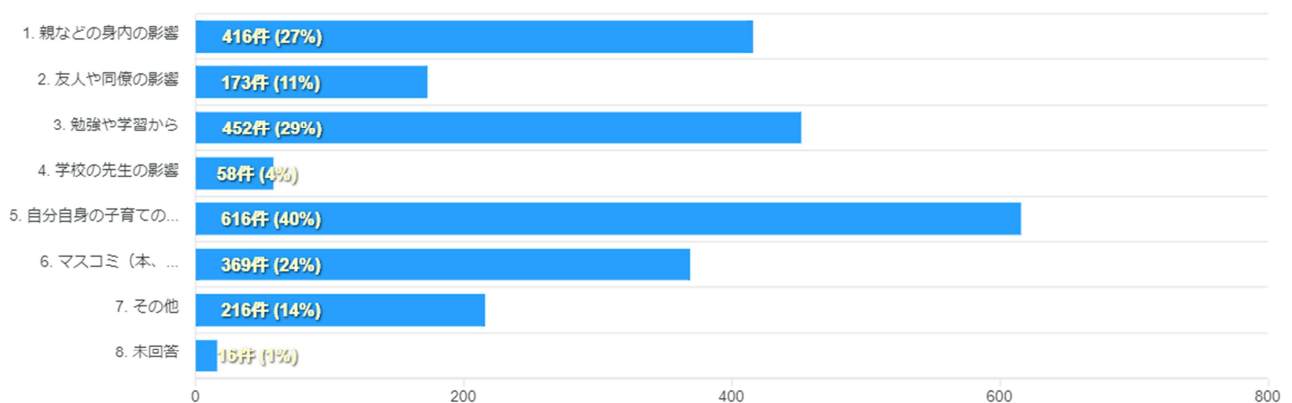
『反対』…「反対」と「どちらかといえば反対」を合算

「女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしく」という考え方は、全体で『賛成』が 36%、『反対』が 53%となっています。



問 14 問 13 での回答について、あなたはなぜそのようにお考えになりましたか。(あてはまるものすべてに○)

「女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしく」と考える理由は、全体で「自分自身の子育ての体験」が 40%と最も高く、次いで「勉強や学習から」が 29%となっています。

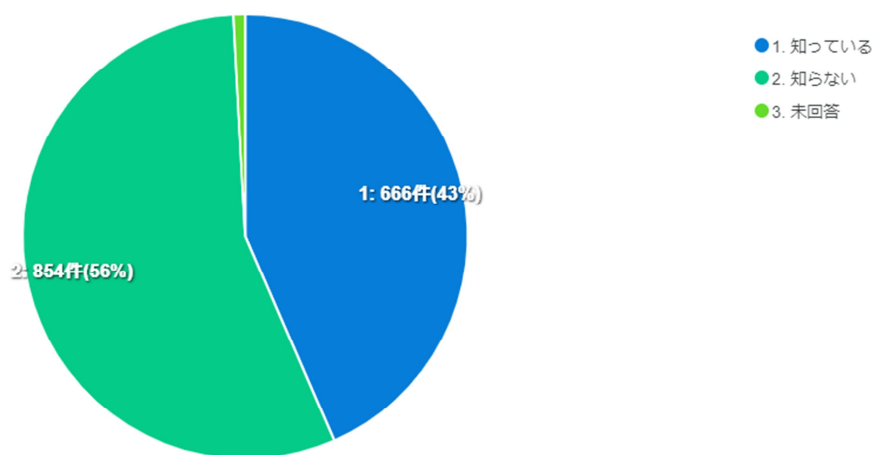


3 DV（ドメスティック・バイオレンス）について

<全員におたずねします>

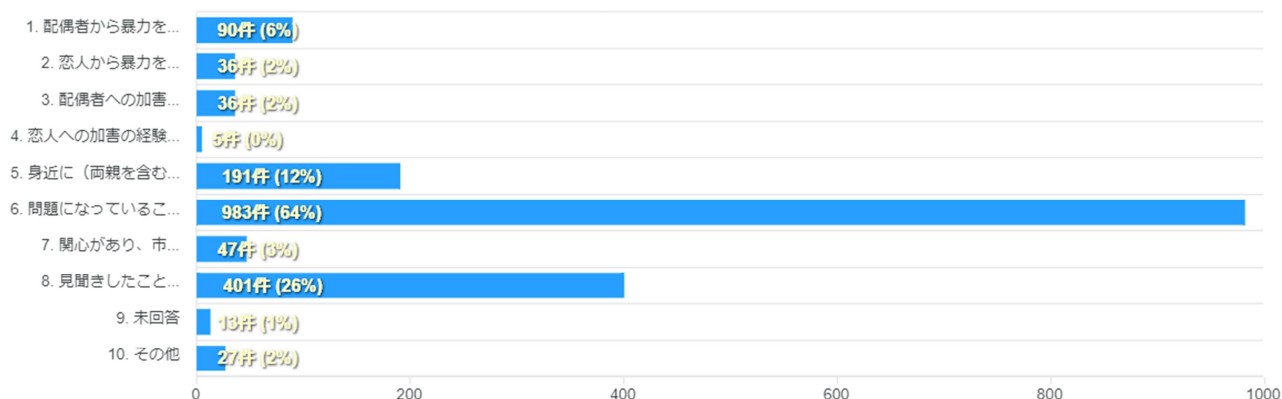
問 15 あなたは配偶者、恋人などからの暴力(ドメスティック・バイオレンス)について相談できる場所を知っていましたか。(どちらかに○)

配偶者等からの暴力について相談できる場所を知っているかは、全体で「知っている」が43%、「知らない」が56%となっています。



問 16 配偶者、恋人などからの暴力(ドメスティック・バイオレンス)についてあなたは経験したり、見聞きしたことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

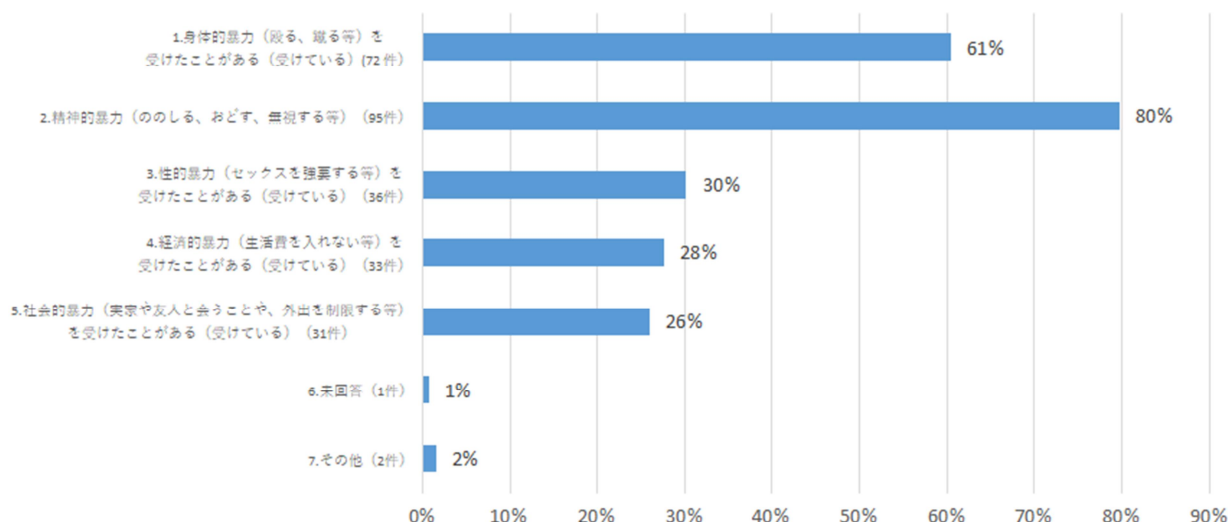
配偶者等からの暴力について経験したりしたことがあるかは、「配偶者から暴力を受けたことがある（受けている）」が6%、「恋人から暴力を受けたことがある（受けている）」が2%となっています。



＜問 16 で「配偶者から暴力を受けたことがある(受けている)」「恋人から暴力を受けたことがある(受けている)」と答えた方におたずねします＞

問 17 その暴力はどのようなものですか。(あてはまるものすべてに○)

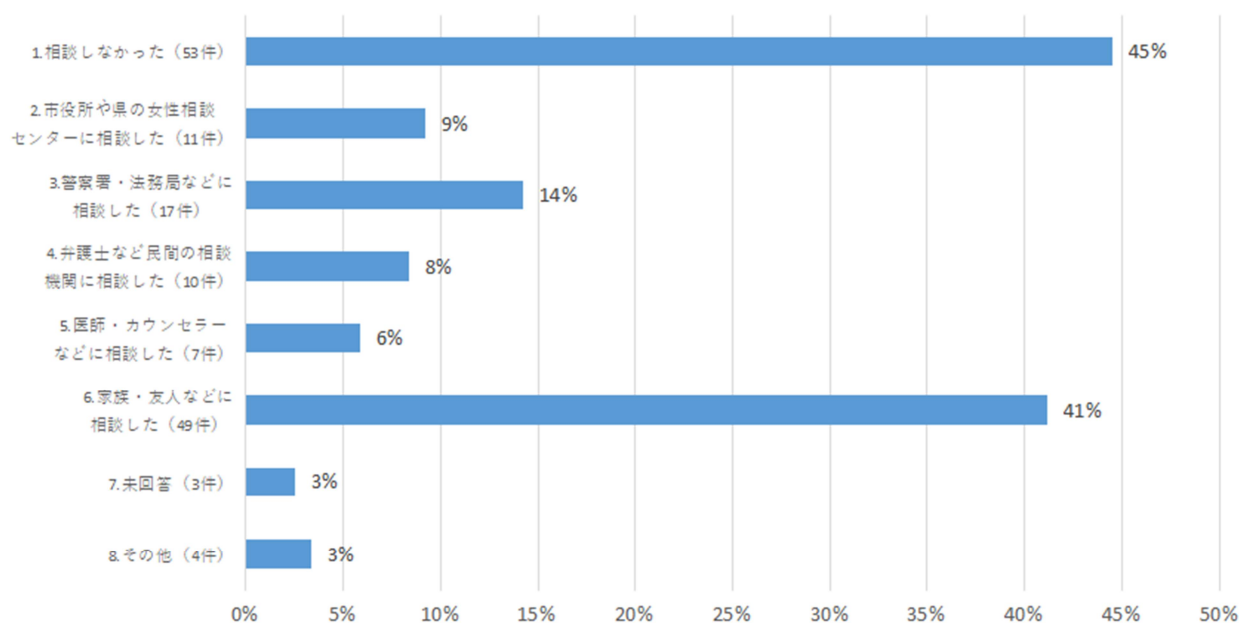
配偶者等からの暴力がどのようなものかは、全体で「精神的暴力(ののしる、おどす、無視する等)」が80%と最も高く、次いで「身体的暴力(殴る、蹴る等)」が61%となっています。



＜問 16 で「配偶者から暴力を受けたことがある(受けている)」「恋人から暴力を受けたことがある(受けている)」と答えた方におたずねします＞

問 18 配偶者、恋人などからの暴力(ドメスティック・バイオレンス)について、あなたはだれかに打ち明けたり相談したりしましたか。(あてはまるものすべてに○)

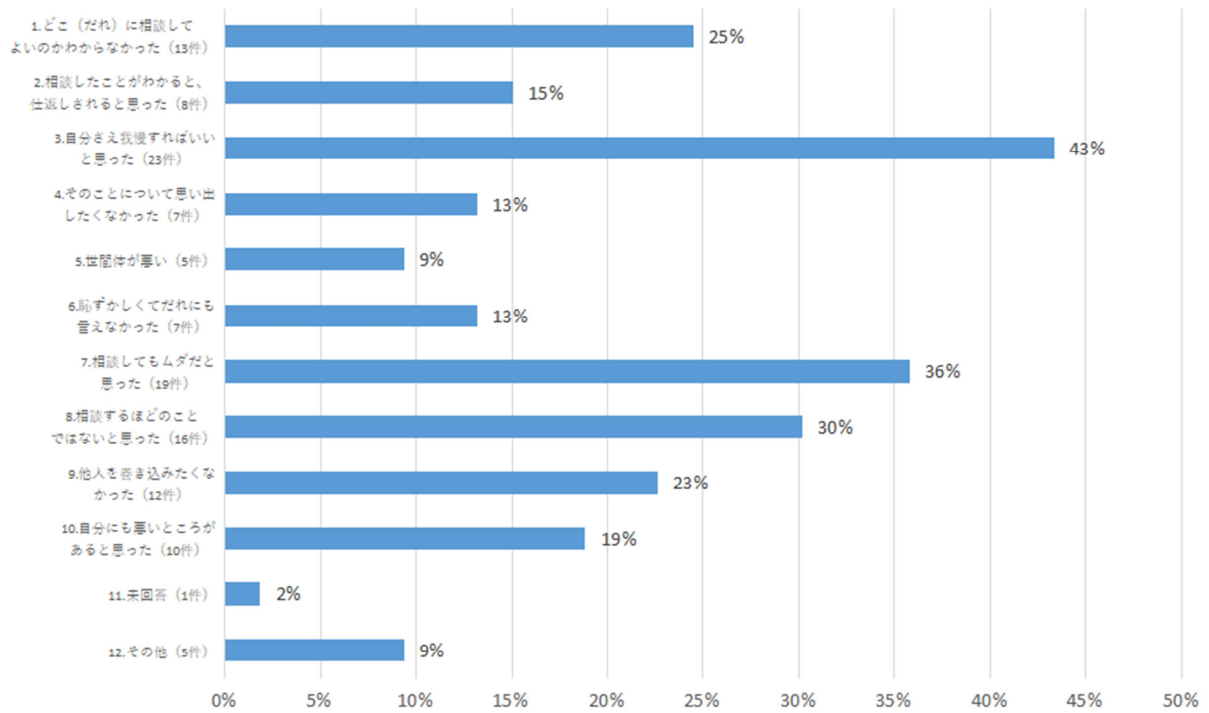
配偶者等からの暴力についてだれかに打ち明けたりしたかは、全体で「相談しなかった」が45%と最も高く、次いで「家族・友人などに相談した」が41%となっています。



＜問 18 で「相談しなかった」と答えた方におたずねします＞

問 19 相談しなかったのはなぜですか。(あてはまるものすべてに○)

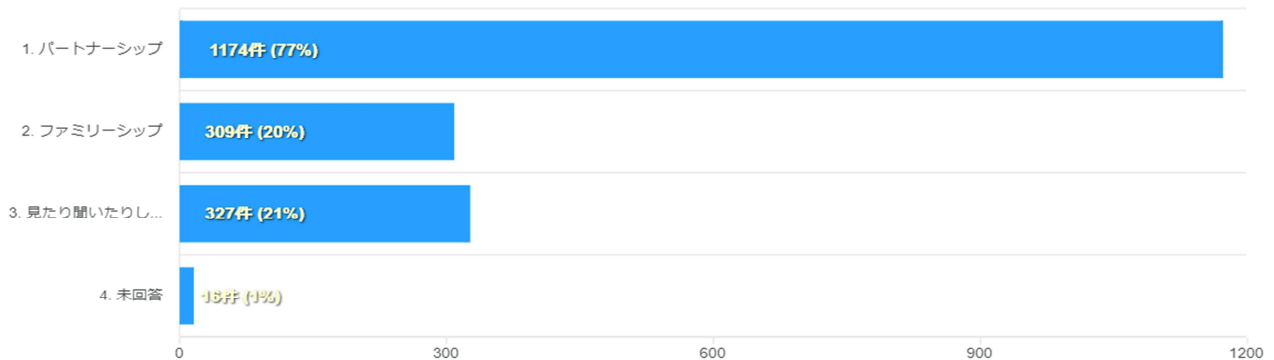
配偶者等からの暴力について相談しなかった理由は、全体で「自分さえ我慢すればいいと思った」が43%と最も高く、次いで「相談してもムダだと思った」が36%となっています。



4 ファミリーシップ・パートナーシップについて

問 20 次にあげる言葉のうち、あなたが見たり聞いたりしたことがあるものはどれですか。
(あてはまるものにすべてチェック)

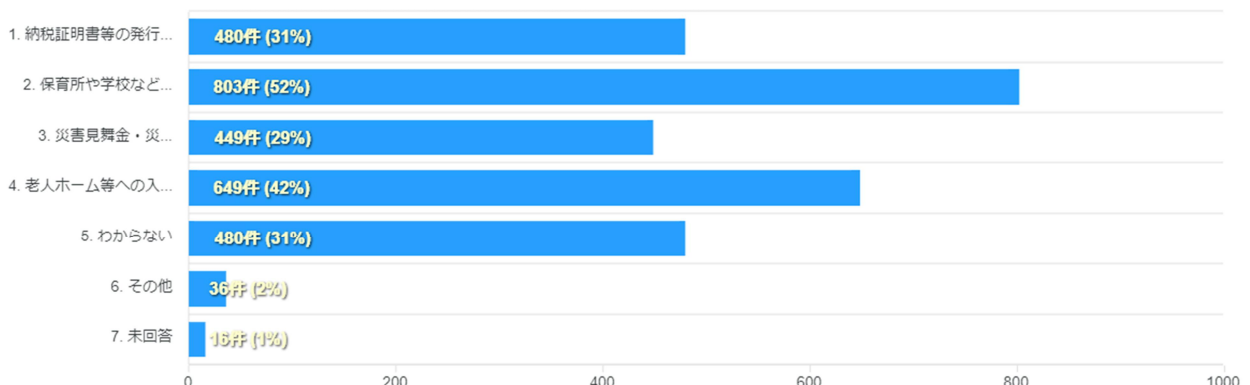
全体で、「パートナーシップ」についてが 77%となっており、最も高い。



問 21 パートナーシップ・ファミリーシップ制度により、知立市では利用可能な行政サービスとして、市営住宅の入居及び同居がありますが、それ以外にどのようなサービスが必要だと思いますか。

(あてはまるものすべてにチェック)

全体で、「保育所や学校など子育て・教育に関すること」についてが 52%と最も高く、次いで「老人ホーム等への入所申し込みなど高齢者福祉に関すること」についてが 42%となっている。

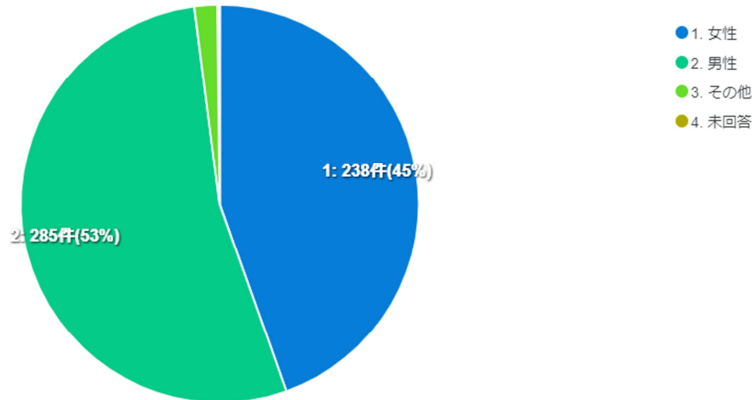


Ⅲ 中学生意識調査 調査結果

1 あなた（回答者）ご自身のことについて

問1 性別

性別は、「女性」が45%、「男性」が53%となっています。



2 男女共同参画の意識について

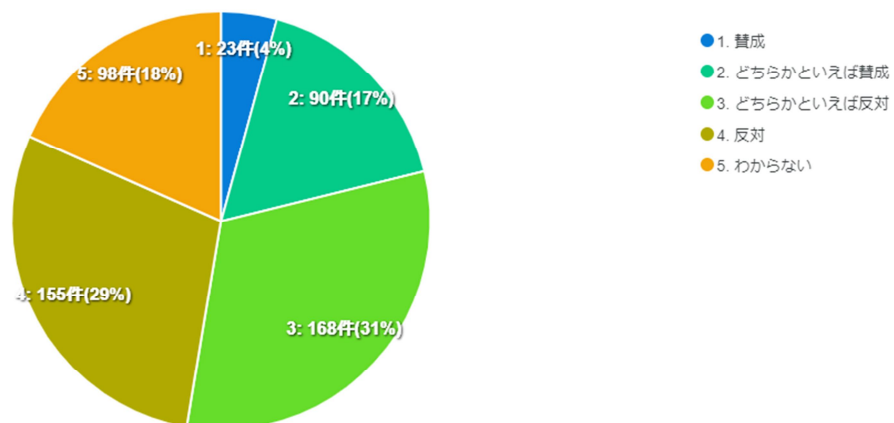
問2 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、あなたはどうお考えですか。（○は1つだけ）

問2の選択肢にかかる表現は以下のように区分しています。

『賛成』…「賛成」と「どちらかといえば賛成」を合算

『反対』…「反対」と「どちらかといえば反対」を合算

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方は、全体で『賛成』が21%、『反対』が60%となっています。



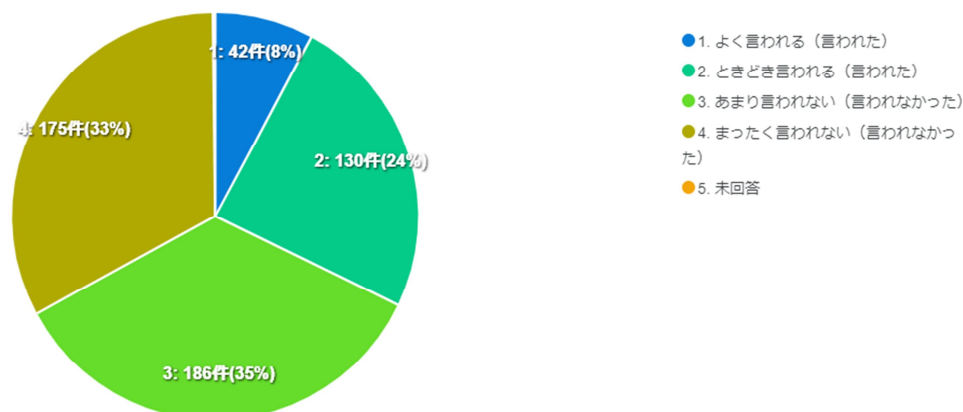
問3 あなたは「女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしく」ということを言われたことがありますか。(○は1つだけ)

問3の選択肢にかかる表現は以下のように区分しています。

『言われる(言われた)』…「よく言われる(言われた)」と「ときどき言われる(言われた)」を合算

『言われない(言われなかった)』…「あまり言われない(言われなかった)」と「まったく言われない(言われなかった)」を合算

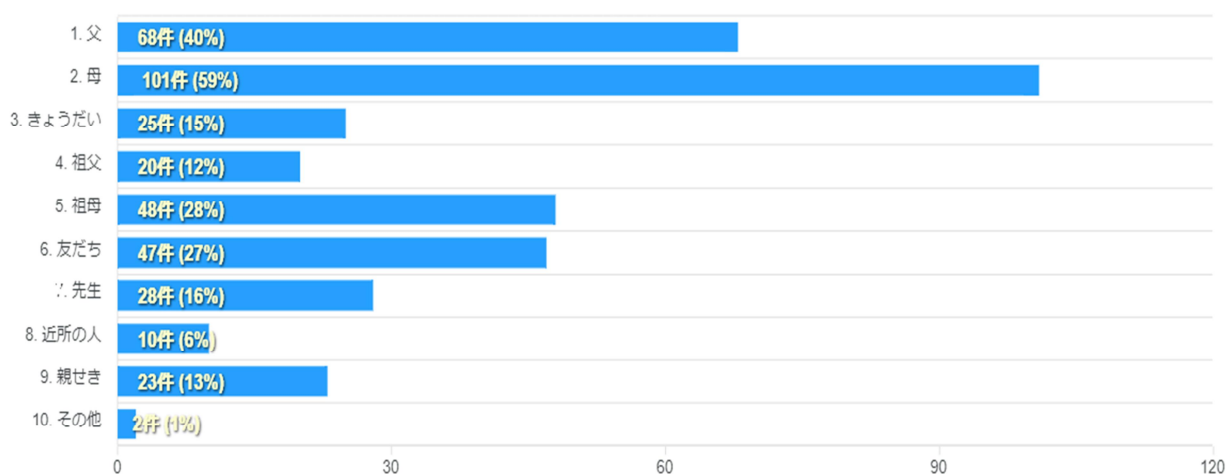
「女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしく」ということを言われたことは、全体で『言われる(言われた)』が32%、『言われない(言われなかった)』が68%となっています。



<問3で「1 よく言われる(言われた)」「2 ときどき言われる(言われた)」に○をつけた方におたずねします>

問4 それはだれに言われましたか。(あてはまるものすべてに○)

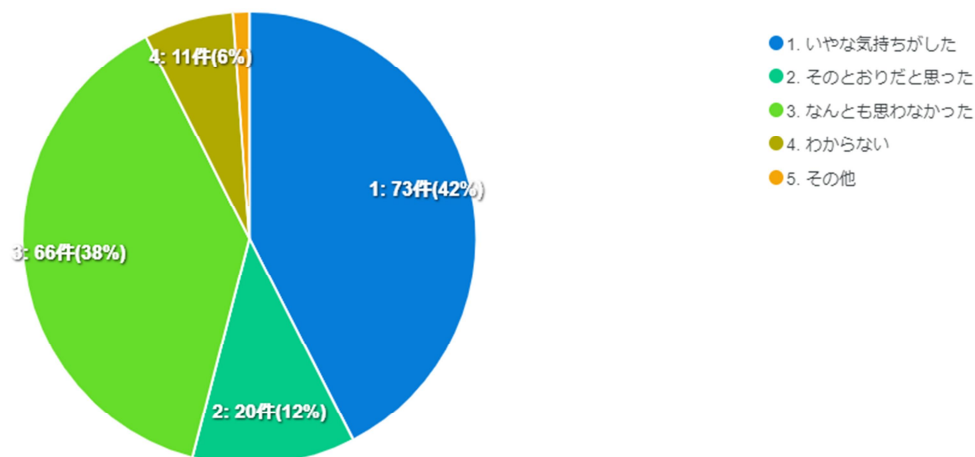
だれに言われたかは、全体で「母」が59%と最も高く、次いで「父」が40%となっています。



<問3で「1 よく言われる(言われた)」「2 ときどき言われる(言われた)」に○をつけた方におたずねします>

問5 あなたは言われたとき、どのような気持ちになりましたか。(○は1つだけ)

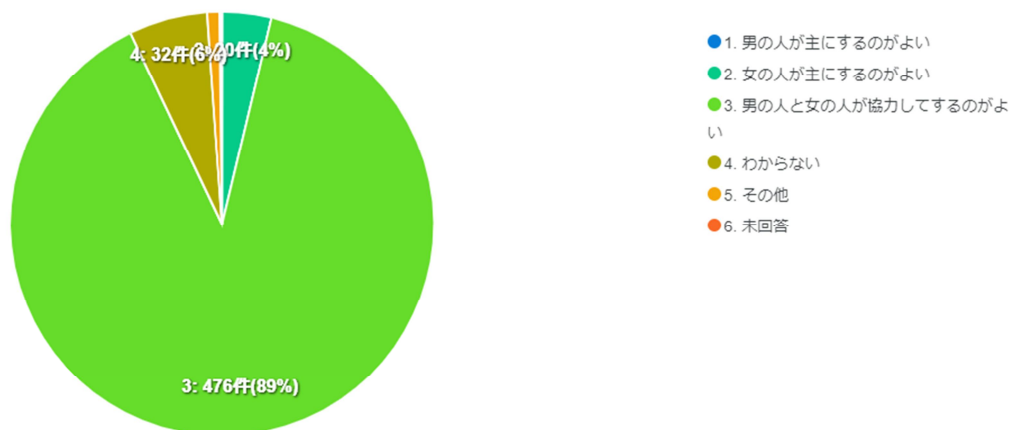
言われたときの気持ちは、全体で「いやな気持ちでした」が42%と最も高く、次いで「なんとも思わなかった」が38%となっています。



<全員におたずねします>

問6 あなたは、料理・掃除・洗濯などの家事は、だれがするのが一番よいと思いますか。(○は1つだけ)

料理・掃除・洗濯などの家事は、だれがするのが一番よいと思うかは、全体で「男の人と女の人が協力してするのがよい」が89%と最も高く、次いで「女の人が主にするのがよい」が4%となっています。



問7 あなたは、次のような考え方についてどう思いますか。各項目についてあなたのお考えに最も近いものをお答えください。(①～④のそれぞれ○は1つだけ)

- ① 荷物運びなどの力仕事は男子がするものだ
- ② 運動部のマネジャーなど細かな気配りをする仕事は女子がよい
- ③ 女性または男性にしか向いていない職業がある
- ④ デートで飲食をするときに男子は女子におごるのが普通だ

問7の選択肢にかかる表現は以下のように区分しています。

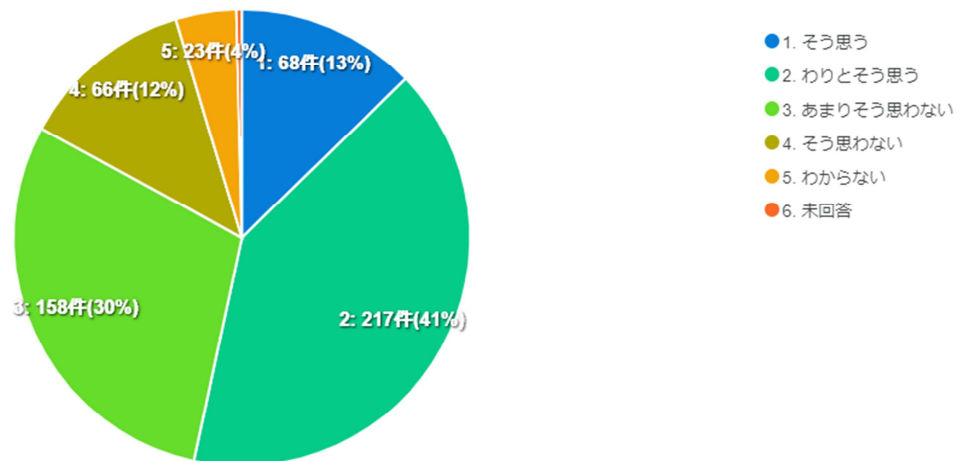
『そう思う』…「そう思う」と「わりとそう思う」を合算

『そう思わない』…「そう思わない」と「あまりそう思わない」を合算

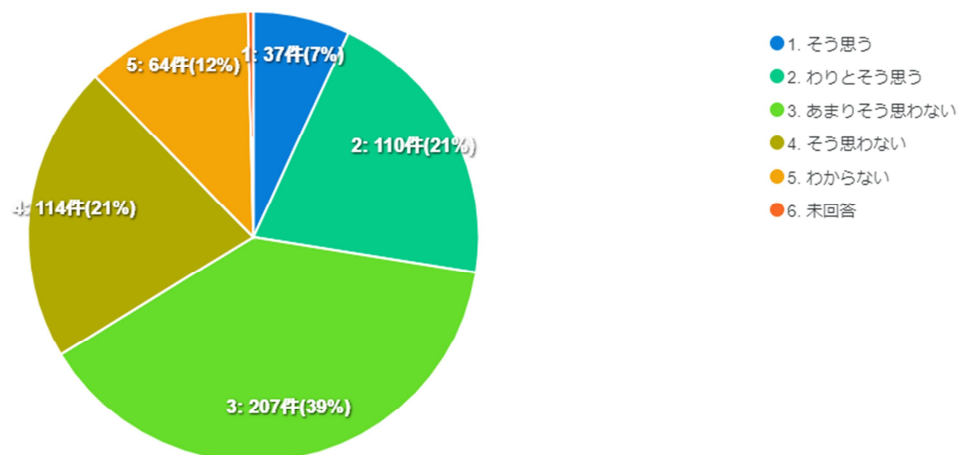
男女の役割の意識については、「① 荷物運びなどの力仕事は男子がするものだ」「③ 女性または男性にしか向いていない職業がある」で『そう思う』が高くなっています。

なお、「④ デートで飲食をするときに男子は女子におごるのが普通だ」では『そう思わない』が73%と高くなっています。

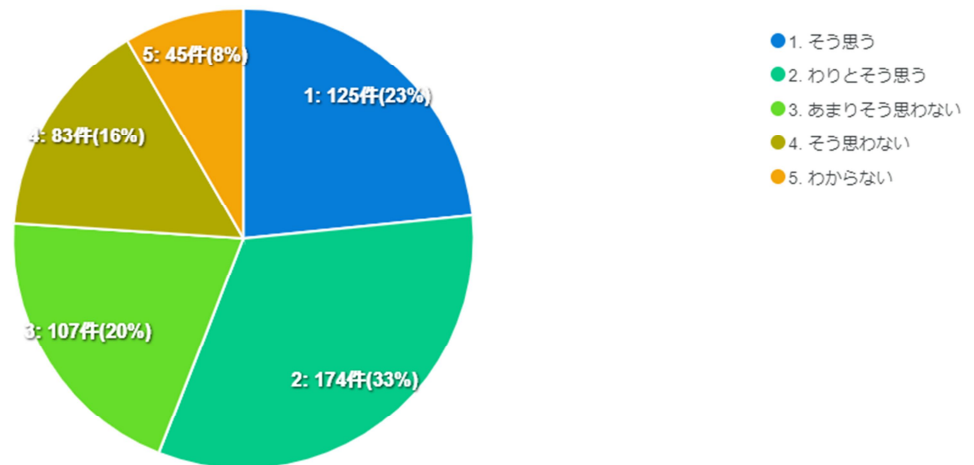
① 荷物運びなどの力仕事は男子がするものだ



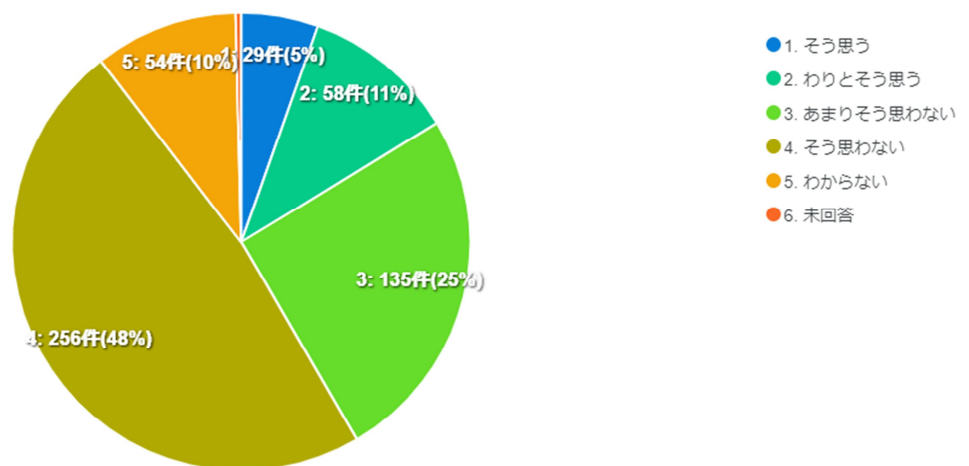
② 運動部のマネジャーなど細かな気配りをする仕事は女子がよい



③ 女性または男性にしか向いていない職業がある



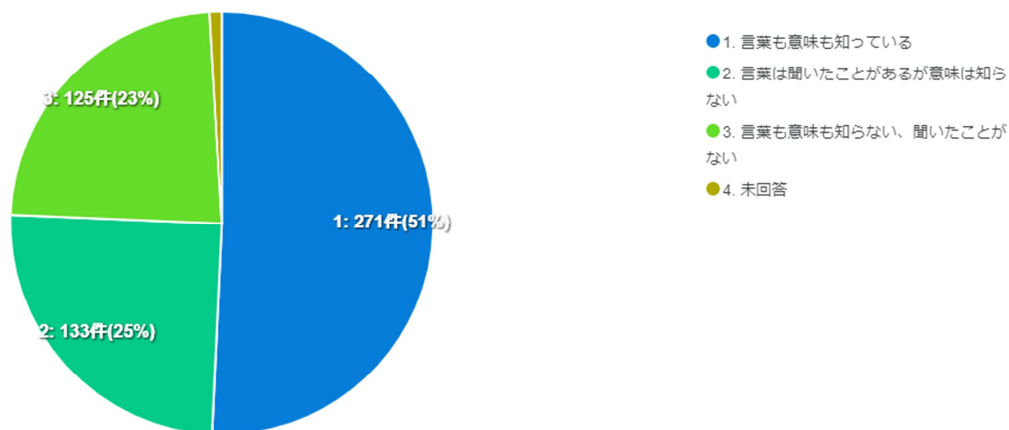
④ デートで飲食をするときに男子は女子におごるのが普通だ



3 男女間の暴力について

問8 あなたは、DV(ドメスティック・バイオレンス)という言葉を知っていますか。(○は1つだけ)

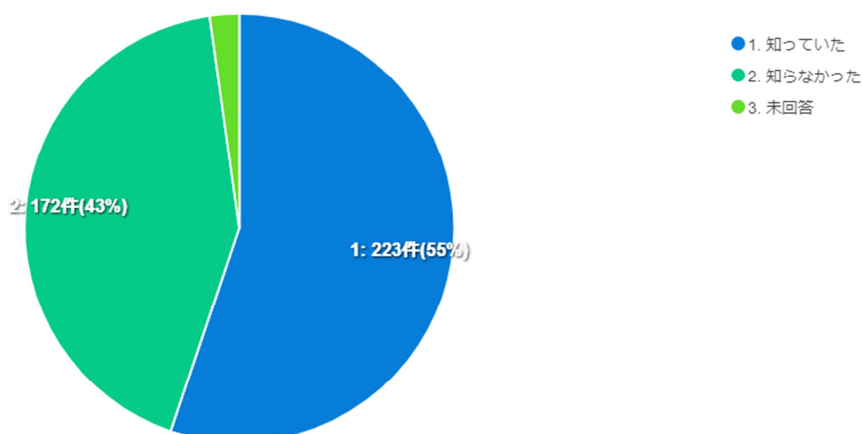
DV(ドメスティック・バイオレンス)という言葉の認知は、全体で「言葉も意味も知っている」が51%と最も高く、次いで「言葉は聞いたことがあるが意は知らない」が25%となっています。



<問8で「1 言葉も意味も知っている」「2 言葉は聞いたことがあるが意は知らない」に○をつけた方におたずねします>

問9 DVには、なぐる、けるなどの暴力だけでなく、言葉による暴力や性的な暴力も含まれることを知っていましたか。(どちらかに○)

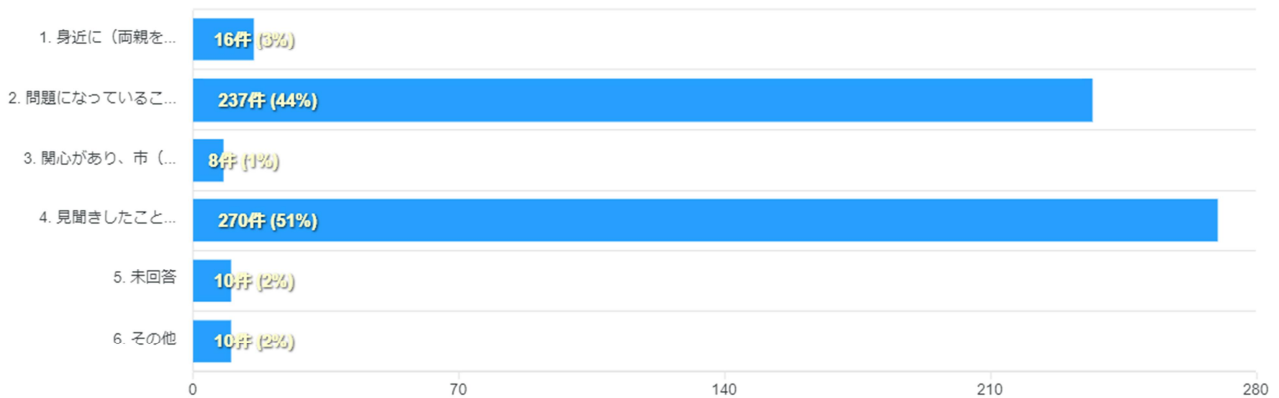
DVには、言葉による暴力や性的な暴力も含まれることを知っていたかは、全体で「知っていた」が55%、「知らなかった」が43%となっています。



<全員におたずねします>

問 10 DV(ドメスティック・バイオレンス)について、あなたは、見聞きしたことがありますか。【あてはまるものすべてにチェック】

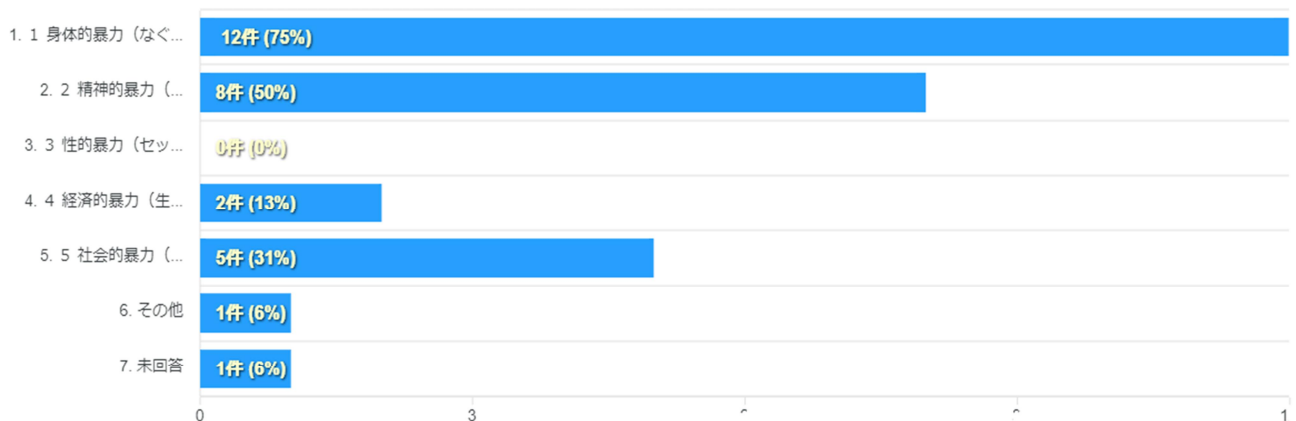
DVについて見聞きしたことがあるかについては、全体で「見聞きしたことがない」が51%と最も高く、次いで「問題になっていることをテレビや新聞等で知っている」が44%となっています。



<問 10 で「身近に(両親を含む)暴力を受けた当事者がいる」と答えた方におたずねします。>

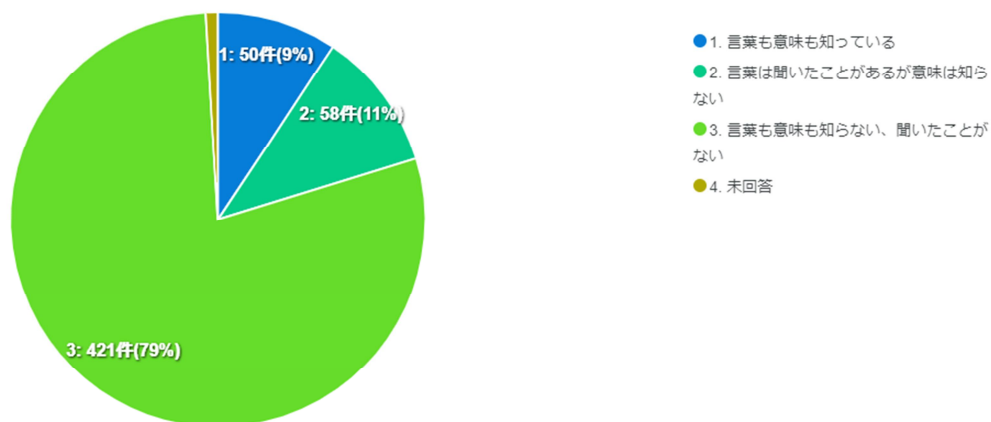
問11 その暴力はどのようなものですか。【あてはまるものすべてにチェック】

身近の暴力については、全体で「身体的暴力（なぐる、ける等）」が75%と最も高く、次いで「精神的暴力（ののしる、おどす、無視する等）」が50%となっています。



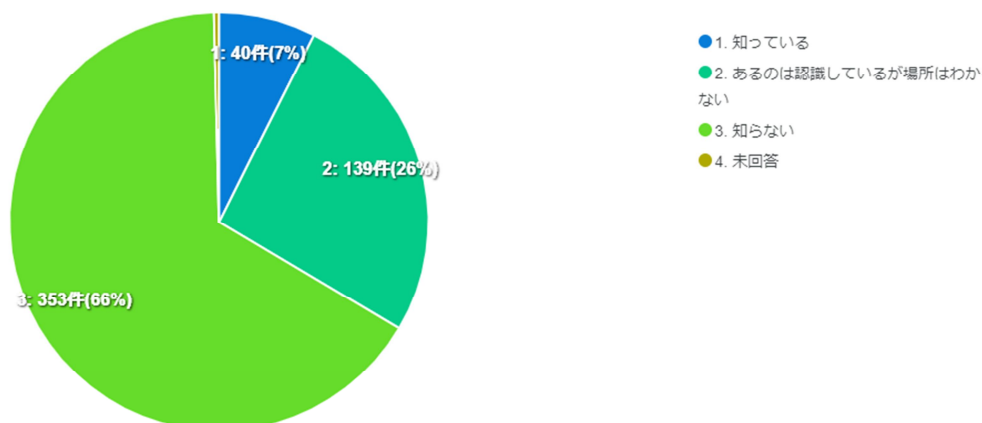
問 12 あなたは、「デートDV」という言葉を知っていましたか。(〇は1つだけ)

「デートDV」という言葉の認知は、全体で「言葉も意味も知らない、聞いたことがない」が79%と最も高く、次いで「言葉は聞いたことがあるが意味は知らない」が11%となっています。



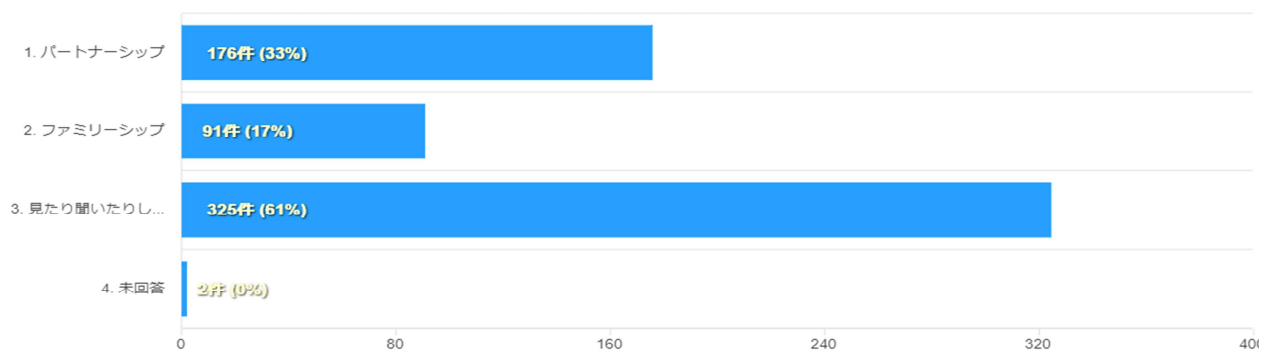
問 13 あなたは、DVについて相談できる窓口があることを知っていましたか。(〇は1つだけ)

DVについて相談できる窓口の認知は、全体で「知らない」が66%と最も高く、次いで「あるのは認識しているが場所はわからない」が26%となっています。



問 14 次にあげる言葉のうち、あなたが見たり聞いたりしたことがあるものはどれですか。【あてはまるものすべてにチェック】

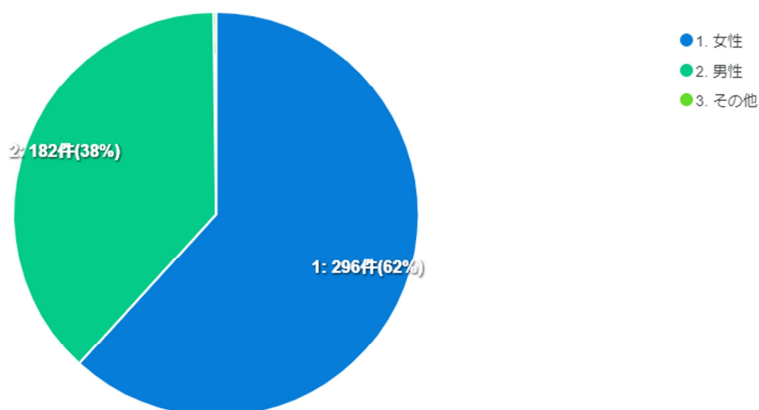
「パートナーシップ」「ファミリーシップ」について、全体で「見たり聞いたりしたことはない」が61%と最も高くなっています。「パートナーシップ」のほうが、「ファミリーシップ」より見聞きしたことがある、が高くなっています。



IV 職員意識調査 調査結果

問 1 あなたの性別は。(どちらかに○) ※自認する性別でお答えください

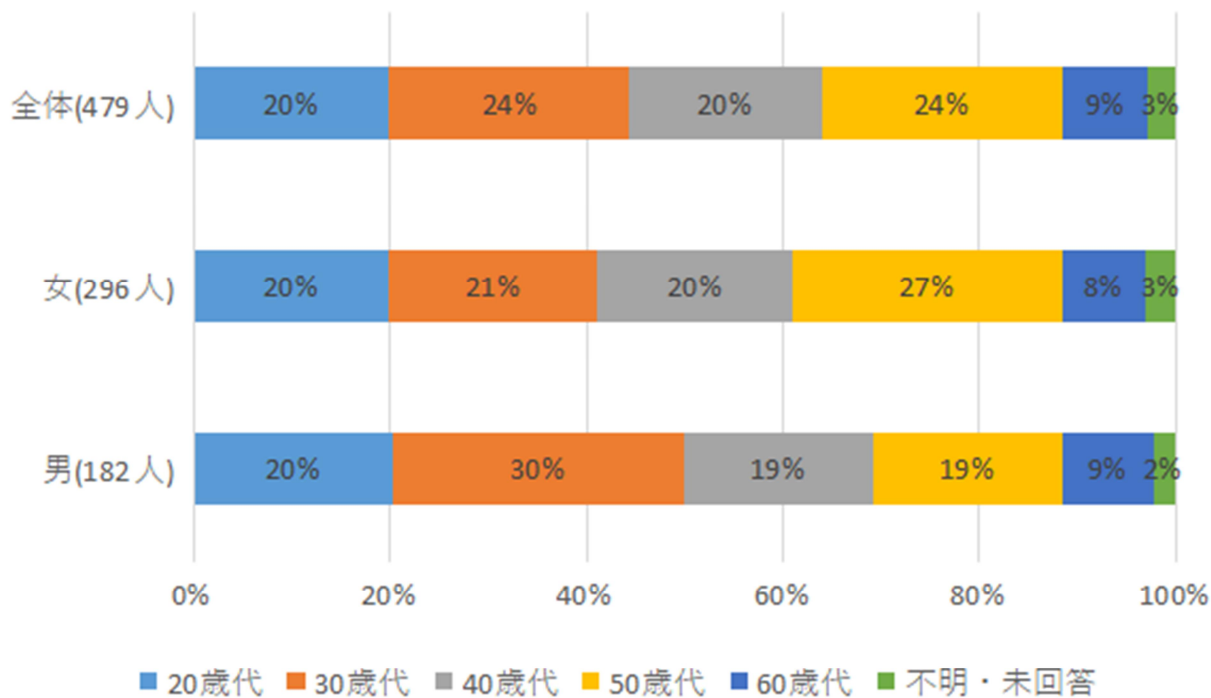
性別は、全体で「女性」が62%、「男性」が38%となっています。



問 2 あなたの年齢は。(数字を記入) ※令和5年4月1日時点

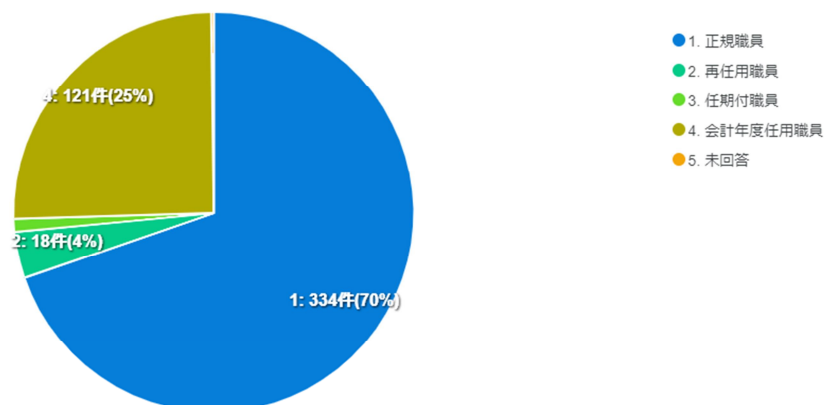
年齢は、全体で「30歳代」「50歳代」が24%と最も高くなっています。

性別では、女性では「50歳代」が27%、男性では「30歳代」が30%と高くなっています。



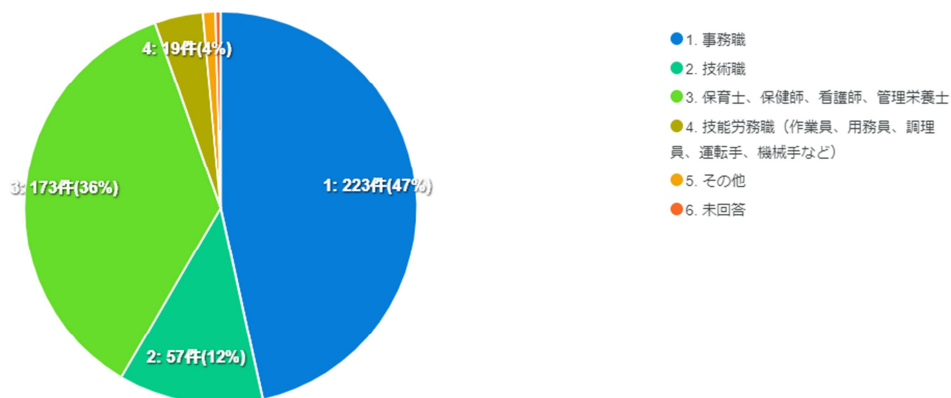
問 3 あなたの任用形態はどれですか。(○は1つだけ)

職種は、全体で「正規職員」が70%と最も高く、次いで「会計年度任用職員」が25%となっています。



問 4 あなたの職種はどれですか。(○は1つだけ)

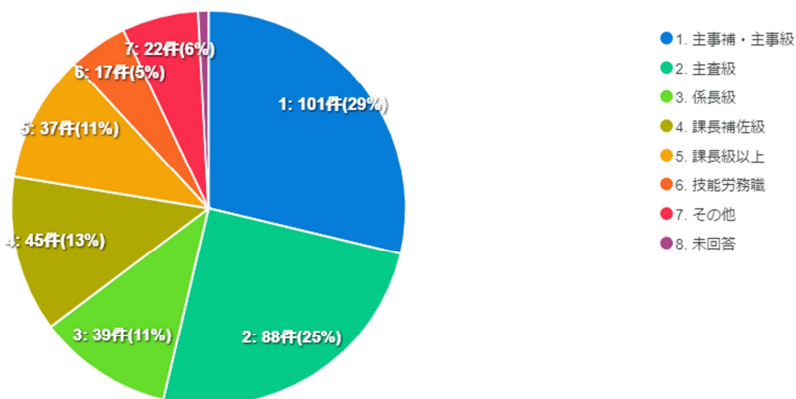
職種は、全体で「事務職」が47%と最も高く、次いで「保育士、保健師、看護師、管理栄養士」が36%となっています。



<問 3 で、「正規職員」、「再任用職員」と回答した方におたずねします。>

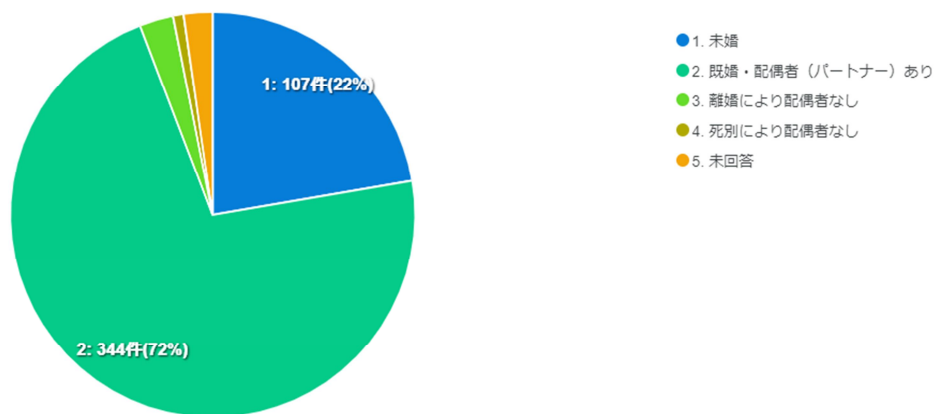
問 5 あなたの補職級はどれですか。(○は1つだけ)

補職級は、全体で「主事補・主事級」が29%と最も高く、次いで「主査級」が25%となっています。



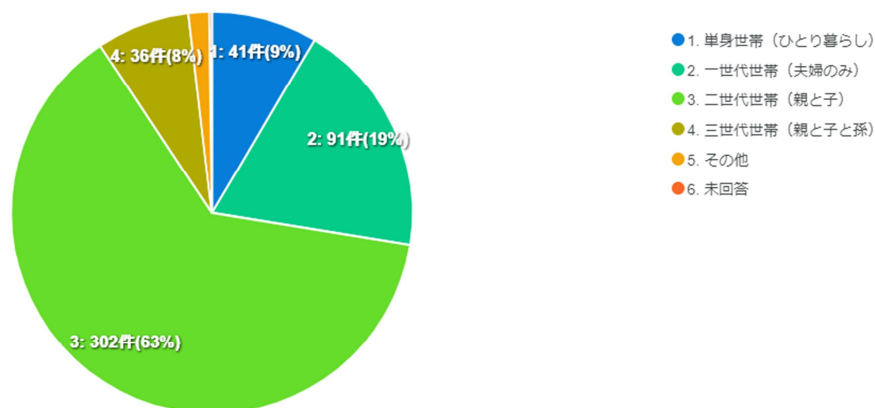
問 6 あなたは結婚(事実婚を含む)しておられますか。(○は1つだけ)

結婚の状況は、全体で「既婚・配偶者(パートナー)あり」が72%と最も高く、次いで「未婚」が22%となっています。



問 7 あなたの家族の構成は次のうちどれですか。(○は1つだけ)

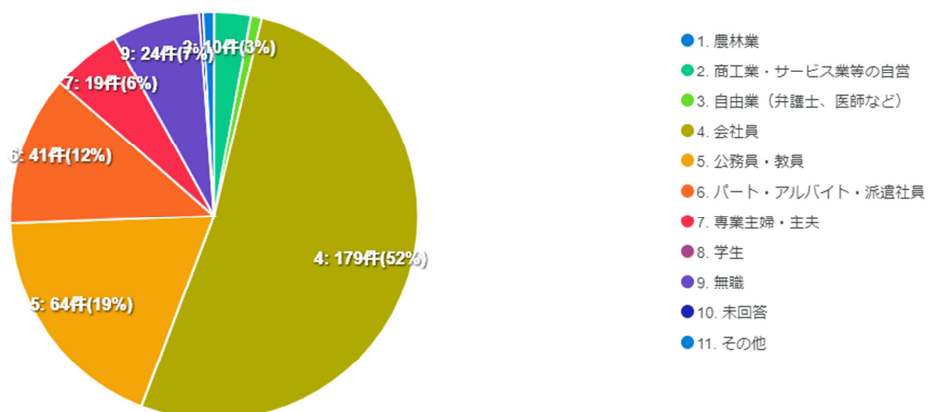
家族の構成は、全体で「二世世代世帯(親と子)」が63%と最も高く、次いで「一世代世帯(夫婦のみ)」が19%となっています。



<問 6で「2 既婚・配偶者(パートナー)あり」と回答した方のみ>

問 8 あなたの配偶者・パートナーの職業は何ですか。(○は1つだけ)

配偶者・パートナーの職業は、全体で「会社員」が52%と最も高く、次いで「公務員・教員」が19%となっています。

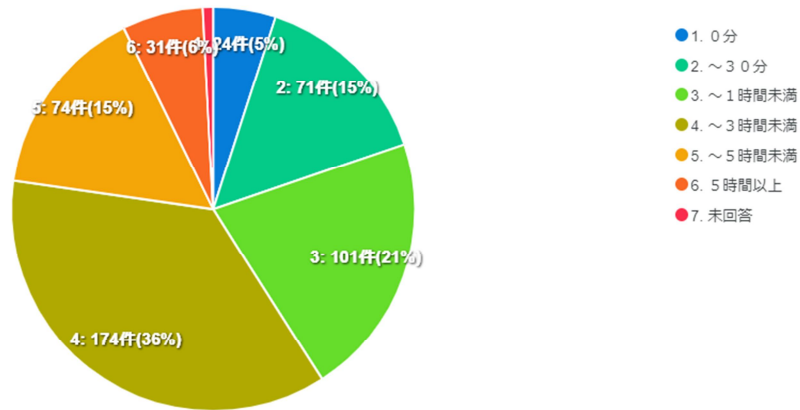


<全員におたずねします>

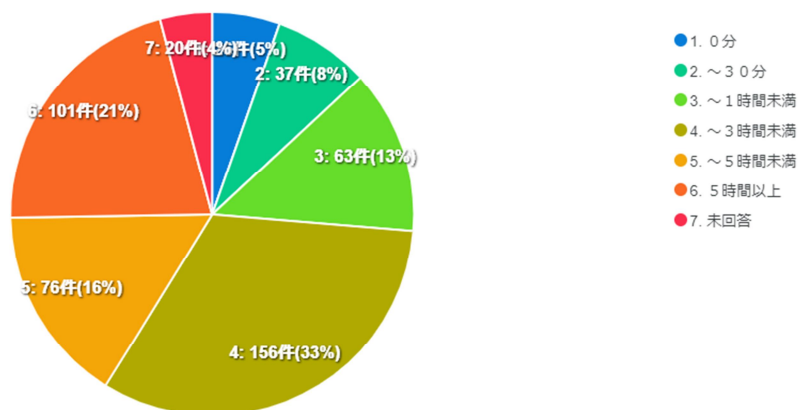
問9 あなたが1日のうちで家事・育児・介護に費やす時間はどのくらいですか。

(①平日、②休日のそれぞれについて、○は1つだけ)

家事・育児・介護に費やす時間は、全体で『①平日』『②休日』ともに、「～3時間未満」が36%、33%とそれぞれ最も高く、次いで『①平日』では、「～1時間未満」が21%、『②休日』では、「5時間以上」21%となっています。



(①平日)

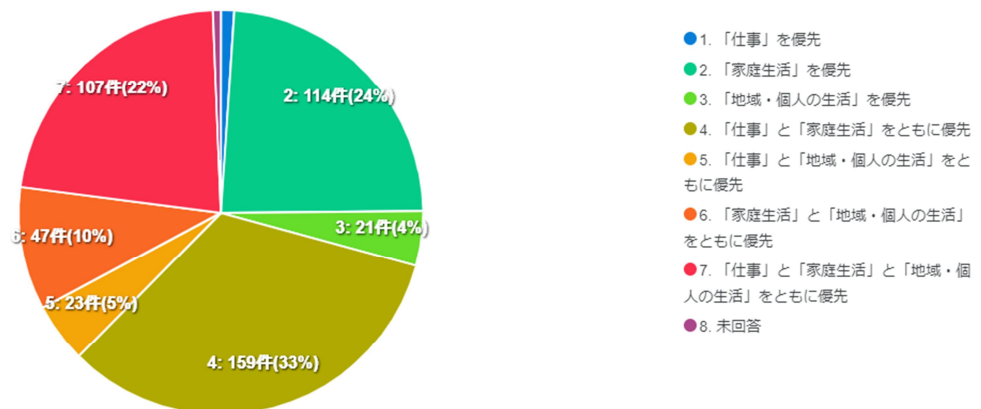


(②休日)

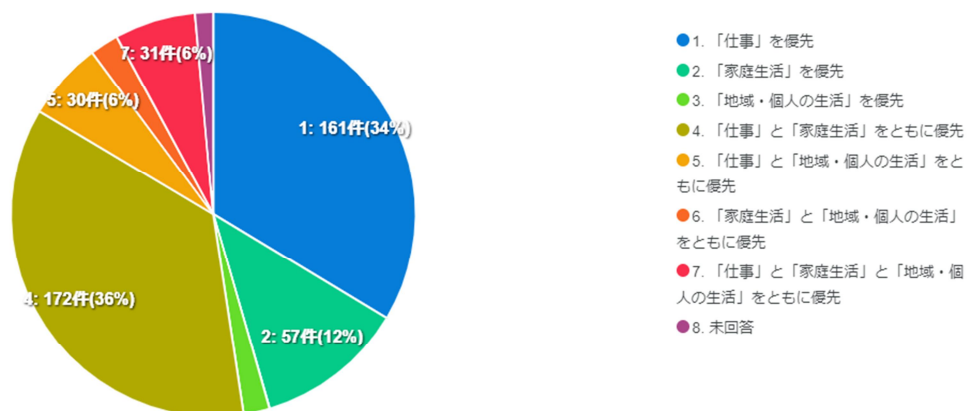
問 10 あなたの生活は、次のどれにあてはまりますか。(①理想の生活、②実際の生活それぞれについて、○は一つだけ)

理想の生活と実際の生活について、全体で『①理想の生活』は、「仕事」と「家庭生活」をともに優先が33%と最も高く、次いで「家庭生活」を優先が24%となっています。『②実際の生活』は、「仕事」と「家庭生活」をともに優先が36%と最も高く、次いで「仕事」を優先が34%となっています。

なお、『①理想の生活』では、「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先が『②実際の生活』と比べて16ポイント高く、『②実際の生活』では、「仕事」を優先が『①理想の生活』と比べて33ポイント高くなっています。



(①理想の生活)



(②実際の生活)

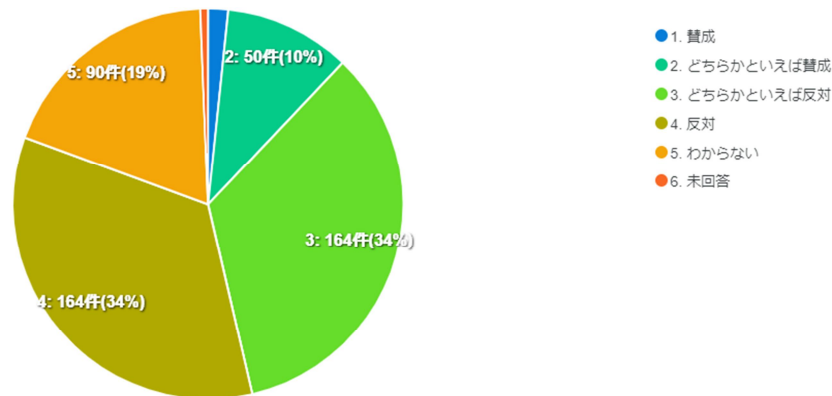
問 11 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、あなたはどうお考えですか。(〇は一つだけ)

問 11 の選択肢にかかる表現は以下のように区分しています。

『賛成』…「賛成」と「どちらかといえば賛成」を合算

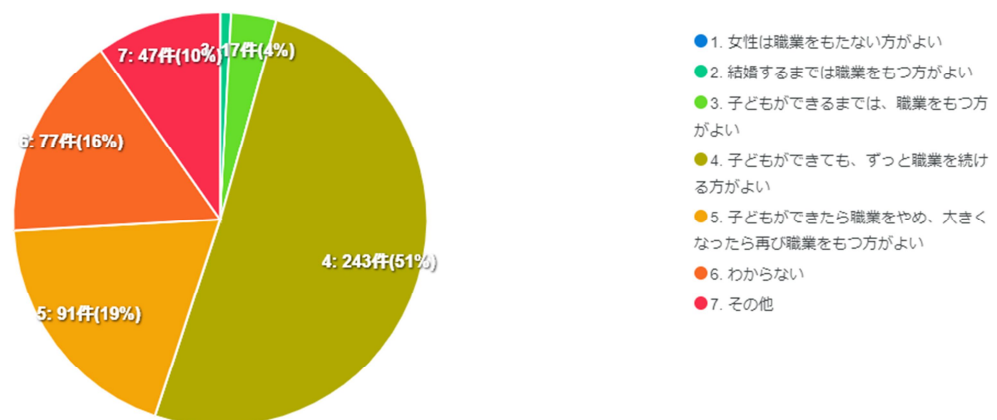
『反対』…「反対」と「どちらかといえば反対」を合算

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方については、全体で『賛成』が 12%、『反対』が 68%、「わからない」が 19%となっています。



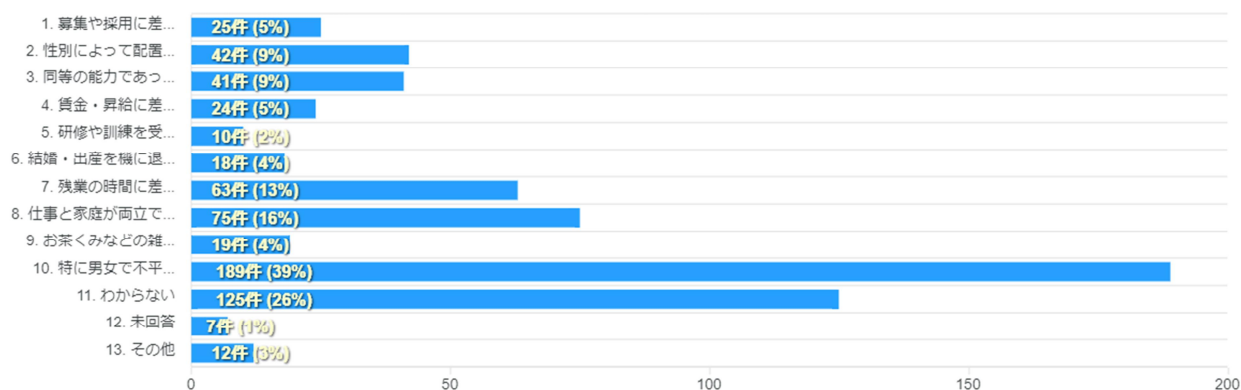
問 12 一般的に女性が職業をもつことについて、あなたはどうお考えですか。(〇は一つだけ)

一般的に女性が職業をもつことについての考え方は、全体で「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」が 51%と最も高く、次いで「子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」が 19%となっています。



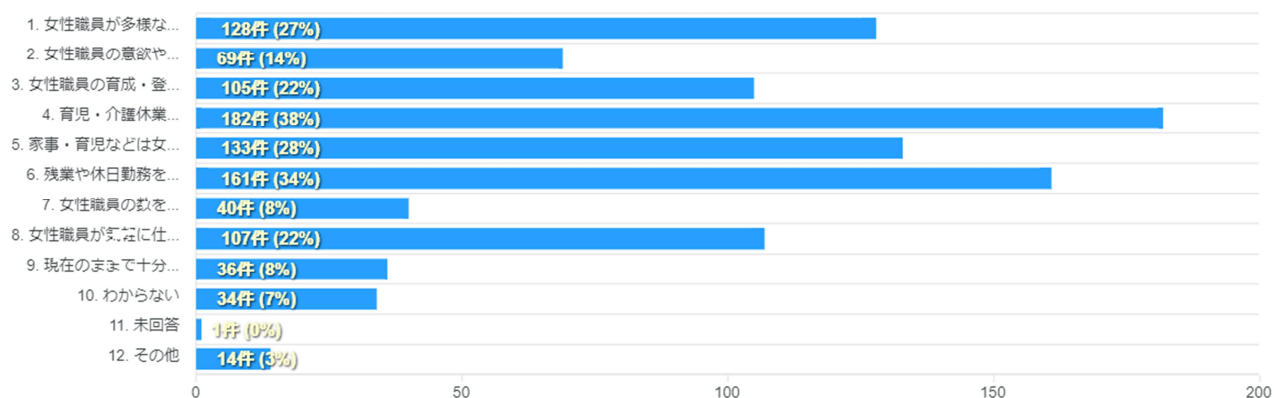
**問 13 あなたの職場では、性別によって不平等な取扱いがありますか。
(あてはまるものすべてに○)**

職場で性別による不平等な扱いについては、全体で「特に男女で不平等な取り扱いはない」が39%と最も高く、次いで「仕事と家庭が両立できる制度（育児休業など）の取得しやすさに差がある」が16%となっています。



問 14 あなたは、職場において、女性職員の登用を進めるためにはどのようなことが必要だと思いますか(○は3つまで)

女性職員の登用を進めるために必要なことは、全体で「育児・介護休業制度などの取得促進を図る」が38%と最も高く、次いで「残業や休日勤務を減らすなど労働条件の改善を図る」が34%となっています。



問 15 育児や家族介護を行うために、法律に基づき育児休業等を取得できる制度があります。この制度を利用して、男性が育児休業等を取得することについて、あなたはどのように思いますか。
(①～③のそれぞれについて、○は1つだけ)

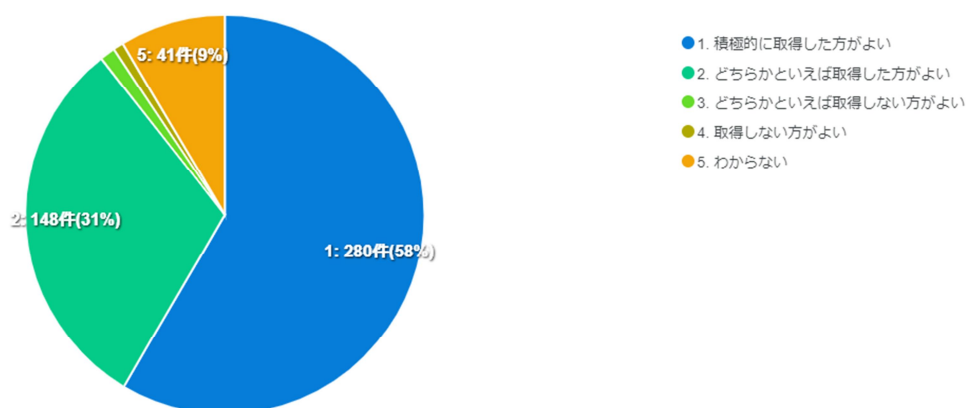
問 15 の選択肢にかかる表現は以下のように区分しています。

『取得した方がよい』…「積極的に取得した方がよい」と「どちらかといえば取得した方がよい」を合算

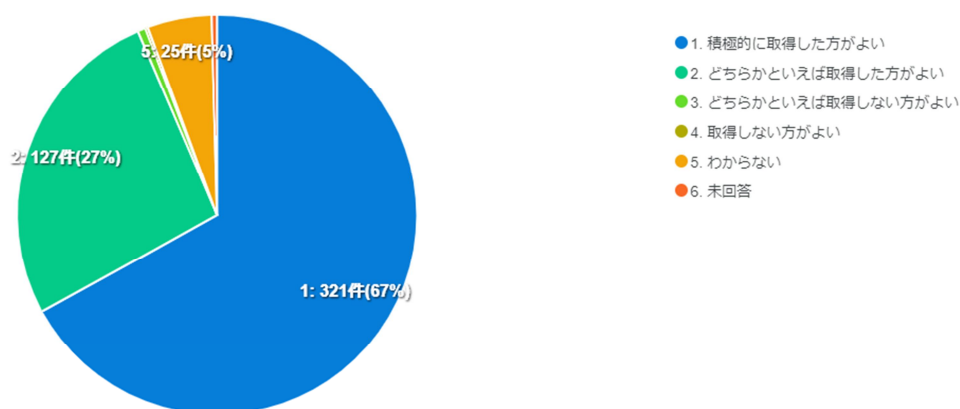
『取得しない方がよい』…「どちらかといえば取得しない方がよい」と「取得しない方がよい」を合算

男性が育児休業等を取得することについて、全体で『取得した方がよい』が「①育児休業」で 89%、「②子の看護休暇」で 94%、「③介護休業」で 93%、『取得しない方がよい』が「①育児休業」で 2%、「②子の看護休暇」で 1%、「③介護休業」で 1%となっています。

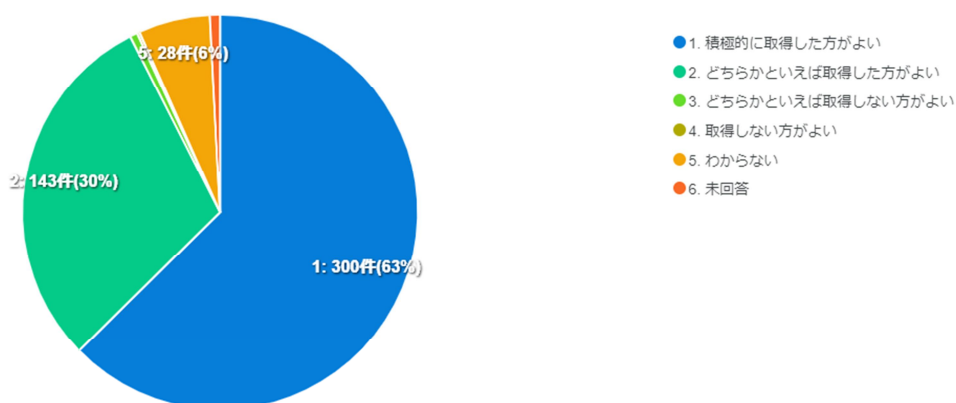
(①育児休業)



(②子の看護休暇)



(③介護休業)



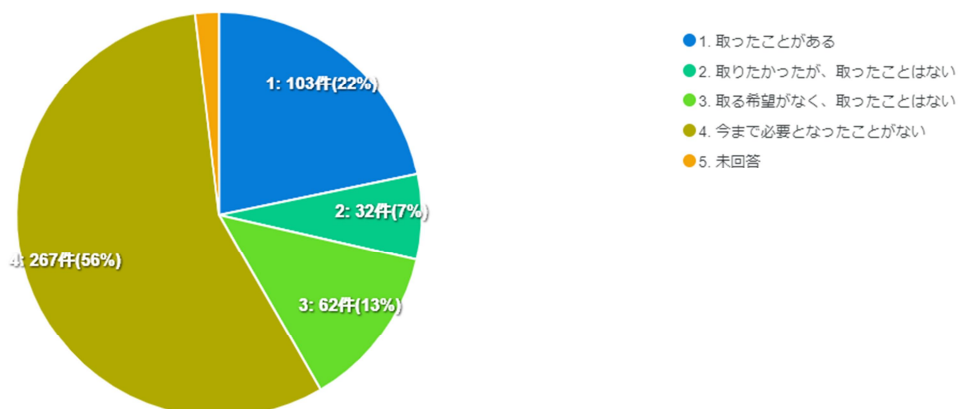
<問3で、「正規職員」、「再任用職員」、「会計年度任用職員」と回答した方のみ。>

問 16 あなたは、職場で以下のような制度を使って休暇等を取ったことがありますか。

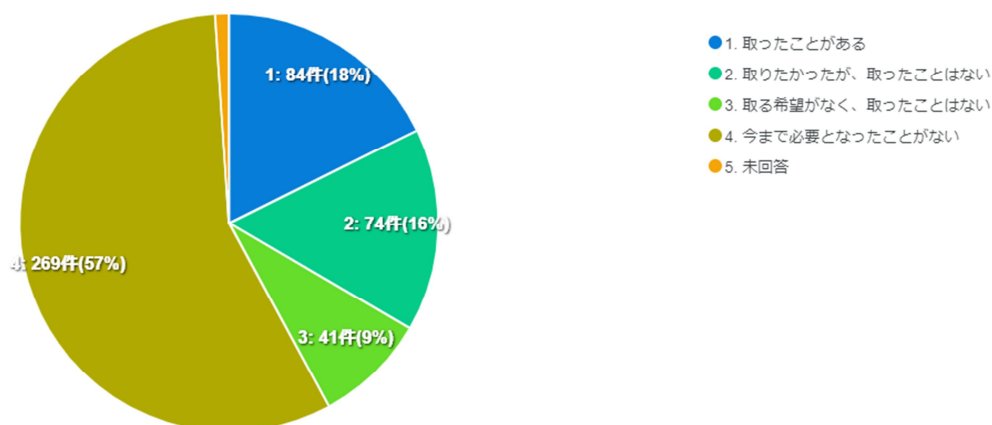
(①～③のそれぞれについて、○は1つだけ)

育児休業等を使って休暇等を取ったことがあるかについて、全体で「今まで必要となったことがない」が育児休業で56%、子の看護休暇で57%、介護休業で81%と最も高く、次いで「取ったことがある」が育児休業で22%、子の看護休暇で18%、「取りたかったが、取ったことはない」が介護休業で8%となっています。

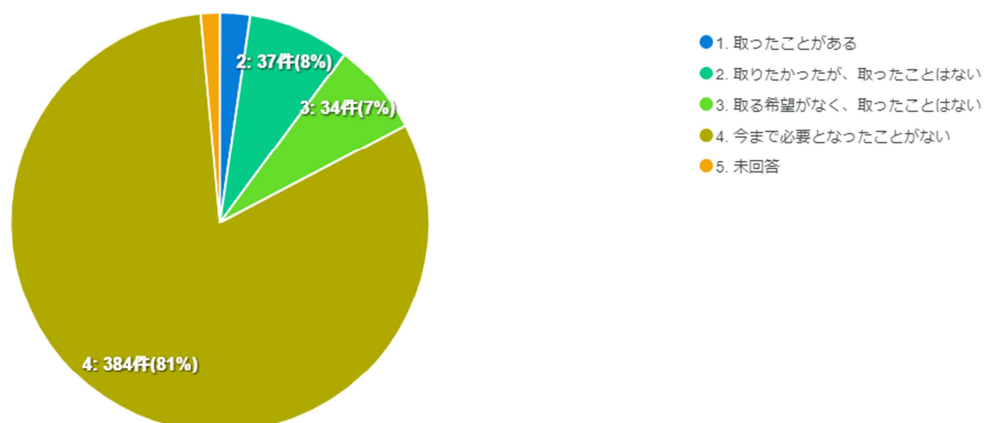
(①育児休業)



(②子の看護休暇)



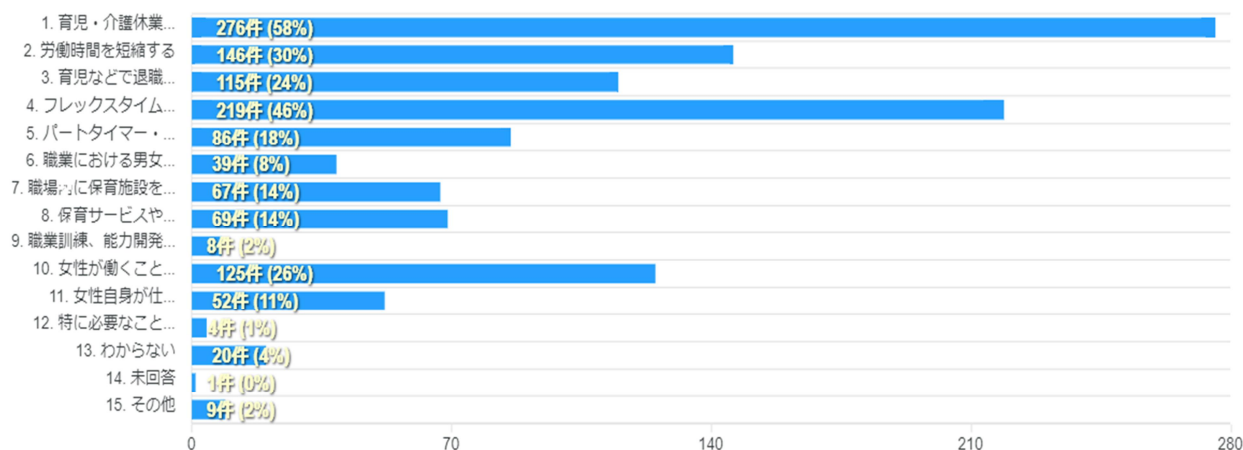
(③介護休業)



問 17 あなたは、女性が働き続けるためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。

(〇は3つまで)

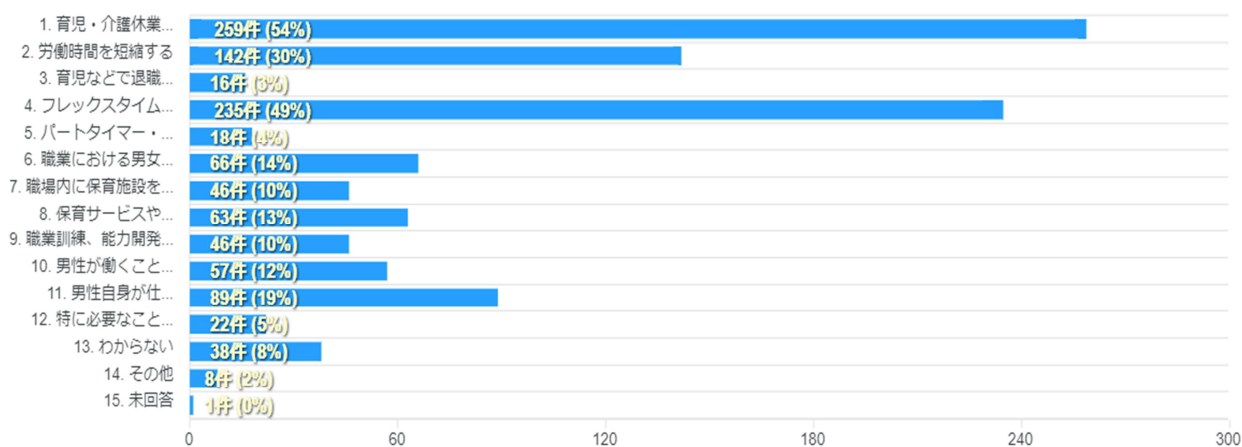
女性が働き続けるためには、特にどのようなことが必要だと思うかは、全体で「育児・介護休業が取得しやすいようにする」が58%と最も高く、次いで「フレックスタイム（出退勤の時刻を自身で決める働き方）を取り入れる」が46%となっています。



問 18 あなたは、男性が働き続けるためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。

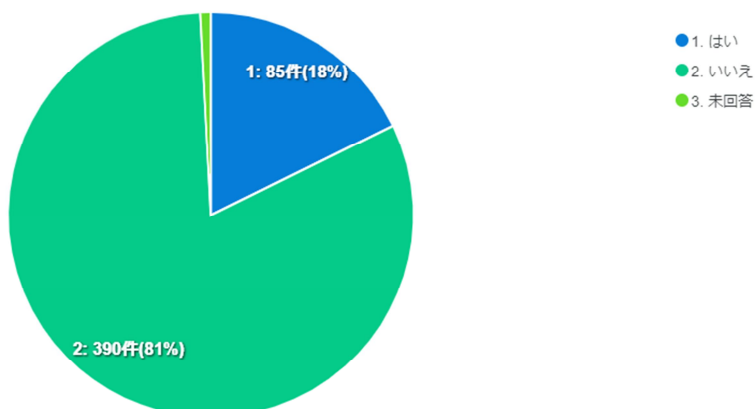
(〇は3つまで)

男性が働き続けるためには、特にどのようなことが必要だと思うかは、全体で「育児・介護休業が取得しやすいようにする」が54%と最も高く、次いで「フレックスタイム（出退勤の時刻を自身で決める働き方）を取り入れる」が49%となっています。



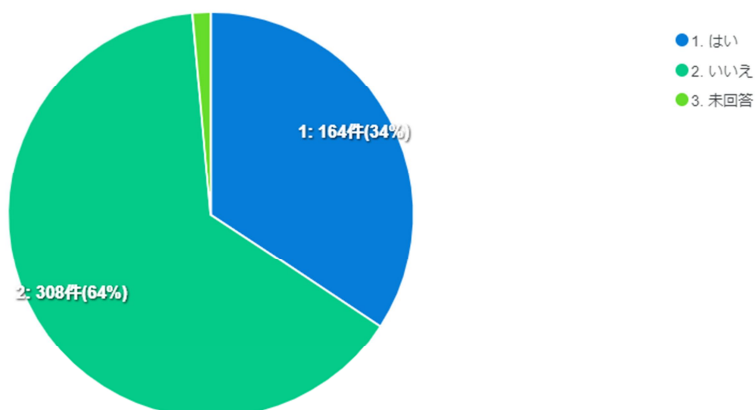
問 19 あなたは、在宅勤務を利用しましたか。(○は1つだけ)

在宅勤務を利用したかは、「はい」が18%、「いいえ」が81%となっています。



問 21 あなたは、時差出勤を利用しましたか。(○は一つだけ)

時差出勤を利用したかは、「はい」が34%、「いいえ」が64%となっています。



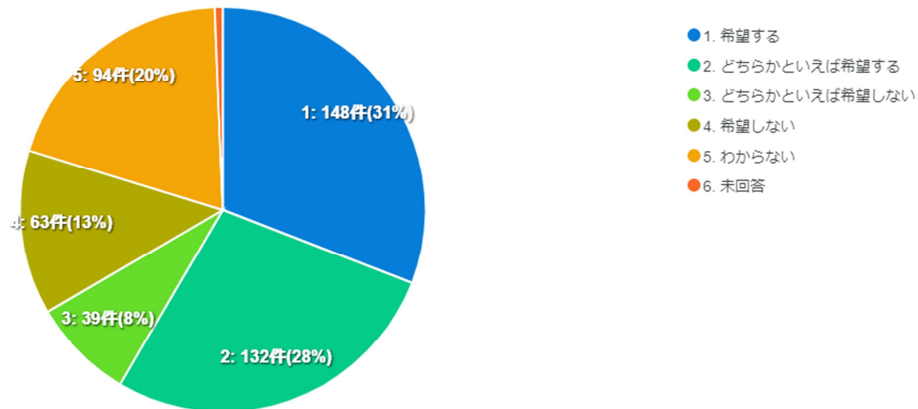
問 23 あなたは、在宅勤務や時差出勤の制度の拡充を希望しますか。(○は1つだけ)

問 23 の選択肢にかかる表現は以下のように区分しています。

『希望する』…「希望する」と「どちらかといえば希望する」を合算

『希望しない』…「どちらかといえば希望しない」と「希望しない」を合算

在宅勤務や時差出勤の拡充を『希望する』が 59%、『希望しない』が 21%となっています。



<問3で、「正規職員」、「再任用職員」、「会計年度任用職員」と回答した方のみ。>

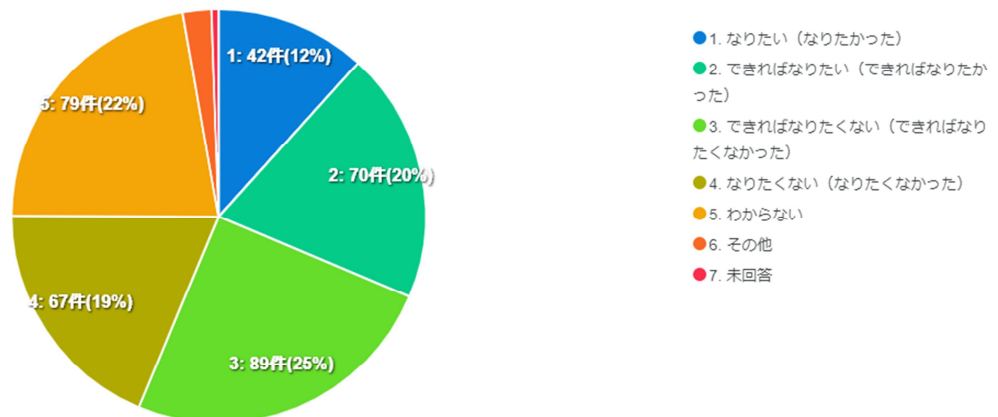
問 24 あなたは、仕事においてリーダーや管理職(部長・課長など)になりたいと思いますか。(思っていましたか。)(○は1つだけ)

問 17 の選択肢にかかる表現は以下のように区分しています。

『なりたい』…「なりたい(なりたかった)」と「できればなりたい(なりたかった)」の合算

『なりたくない』…「できればなりたくない(なりたくなかった)」と「なりたくない(なりたくなかった)」の合算

仕事においてリーダーや管理職(部長・課長など)になりたいと思うかは、全体で『なりたい』が 32%、『なりたくない』が 44%となっています。

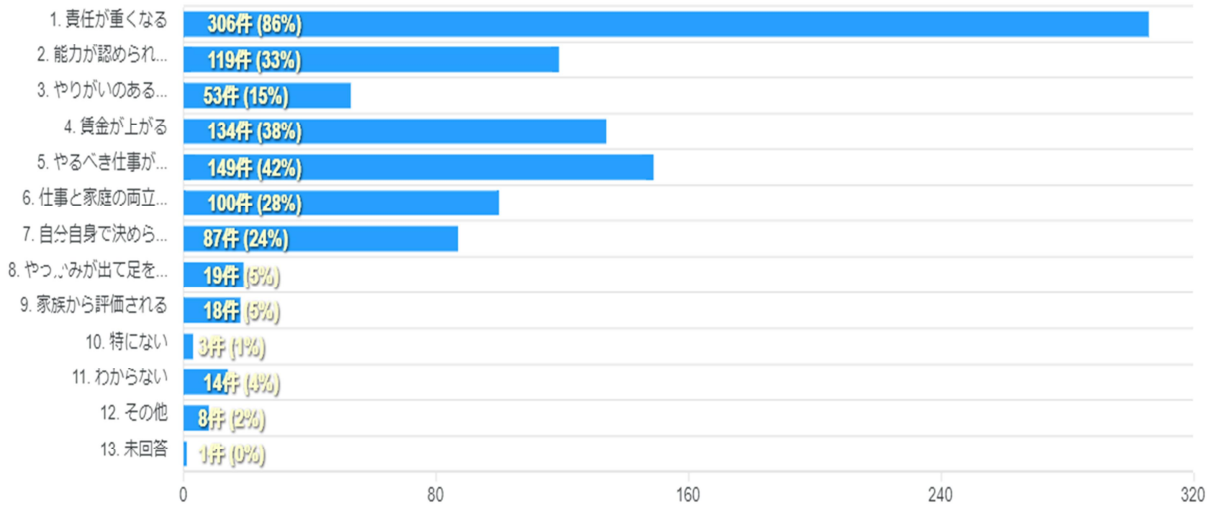


<問3で、「正規職員」、「再任用職員」、「会計年度任用職員」と回答した方のみ。>

問 25 あなたは、管理職以上に昇進することについてどのようなイメージを持っていますか。

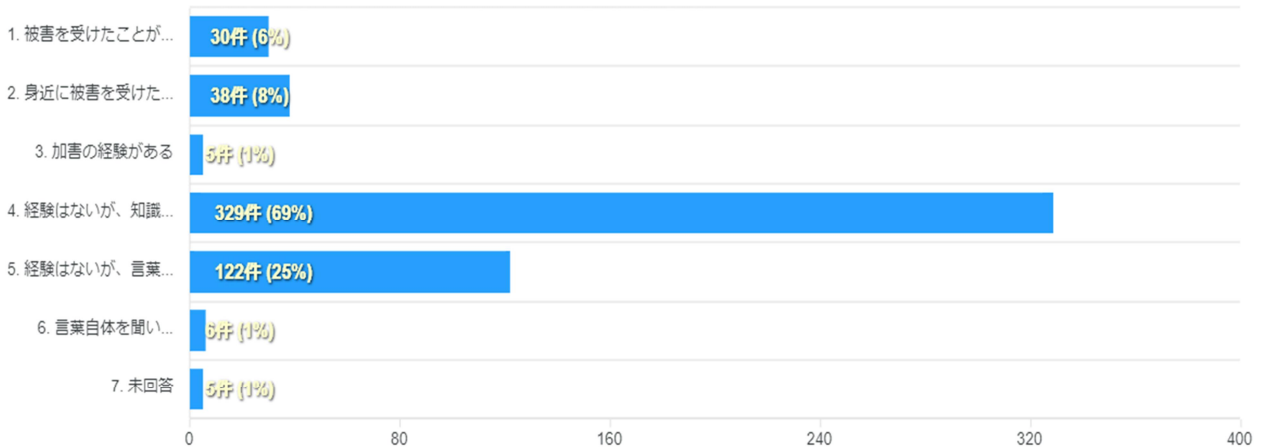
(あてはまるものすべてに○)

管理職以上に昇進することについてどのようなイメージを持っているかは、全体で「責任が重くなる」が86%と最も高く、次いで「やるべき仕事が増える」が42%となっています。



問 26 セクシュアル・ハラスメント(セクハラ・性的嫌がらせ)についてあなたは経験したり、見聞きしたことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

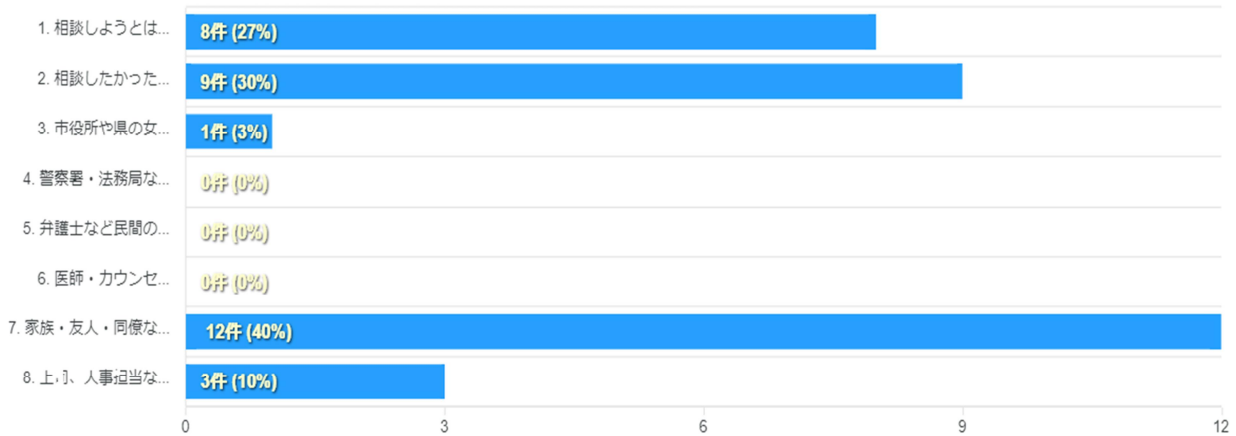
セクシュアル・ハラスメントについて経験したり、見聞きしたことは、全体で「被害を受けたことがある(受けている)」が6%、「身近に被害を受けた当事者がいる」が8%、「加害の経験がある」が1%となっています。



<問 26 で「1 被害を受けたことがある(受けている)」と回答した方のみ>

問 27 あなたはだれかに打ち明けたり相談したりしましたか。(あてはまるものすべてに○)

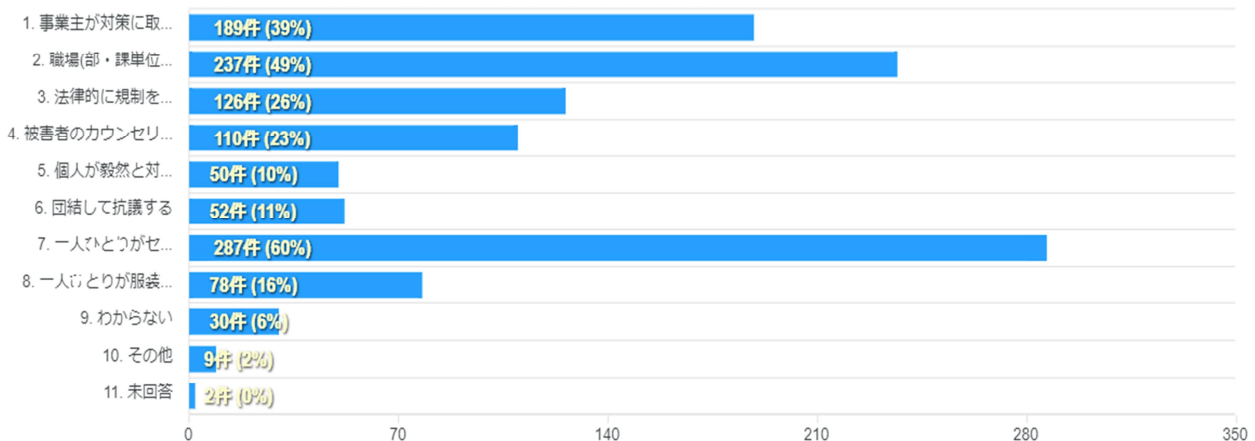
だれかに打ち明けたり相談したかは、全体で「家族・友人・同僚などに相談した」が40%と最も高く、次いで「相談したかったが、相談しなかった」が30%となっています。



<全員におたずねします。>

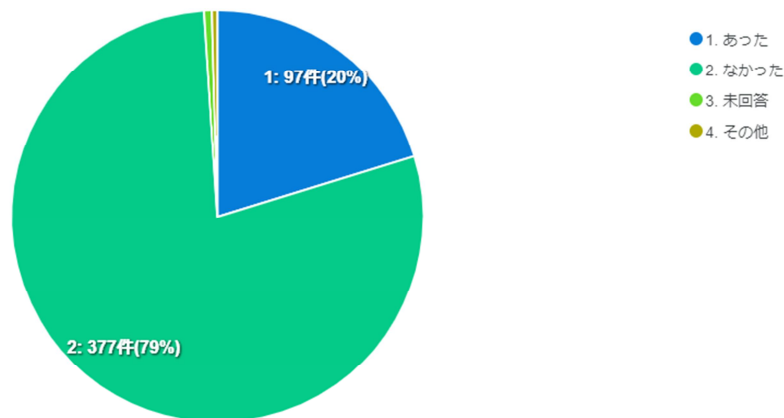
問 28 セクシュアル・ハラスメント(セクハラ・性的嫌がらせ)についてあなたは経験したり、見聞きしたことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

必要な対策は、全体で「一人ひとりがセクシュアル・ハラスメントを理解し自覚を持つ」が60%と最も高く、次いで「職場(部・課単位)でセクシュアル・ハラスメントの教育・研修をする」が49%となっています。



**問 29 あなたはこれまで、配偶者や恋人からの暴力(ドメスティック・バイオレンス:DV)について、市民から何らかの相談を受けたり、事案に関わったりしたことがありますか。
(○は1つだけ)**

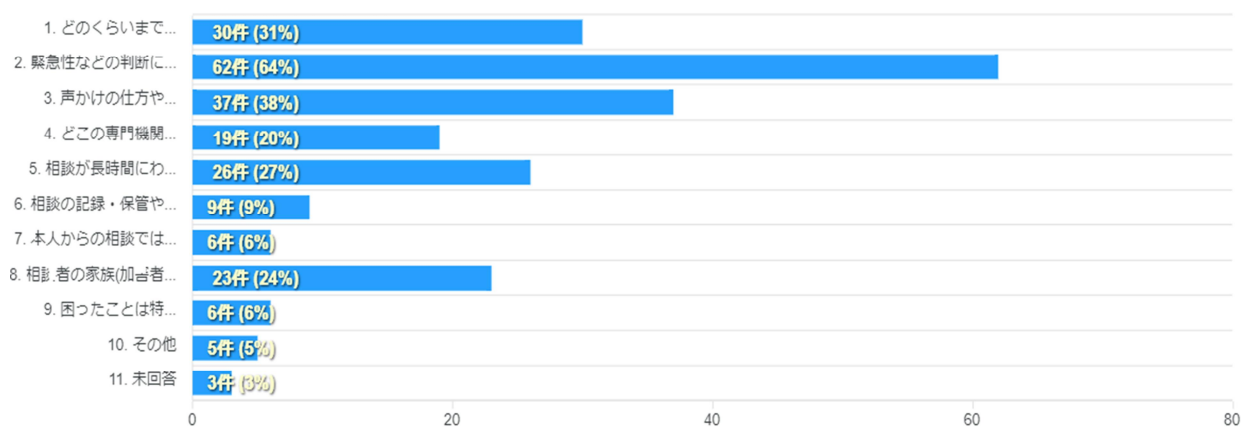
市民からの相談を受けたり、事案に関わった経験は、全体で「あった」が20%、「なかった」が79%となっています。



<問 29 で「1 あった」と回答した方のみ>

問 30 相談を受けた際、困ったことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

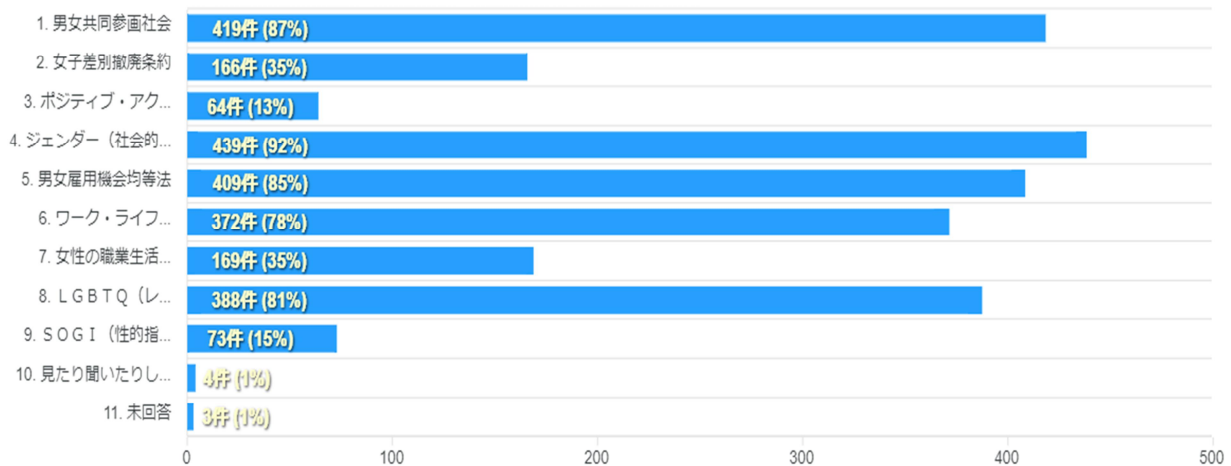
相談を受けた際に困ったことは、全体で「緊急性などの判断に迷った」が64%と最も高く、次いで「声かけの仕方や、相談を受ける際に注意しなければならないことがわからなかった」が38%となっています。



<全員におたずねします>

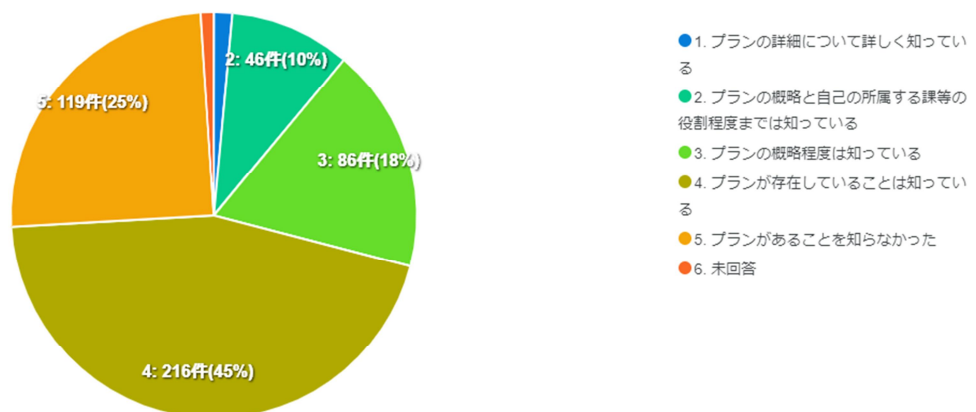
問 31 次にあげる言葉のうち、あなたが見たり聞いたりしたことがあるものはどれですか。
(あてはまるものすべてに○)

言葉の認知は、全体で「ジェンダー（社会的差別）」が92%と最も高く、次いで「男女共同参画社会」が87%となっています。



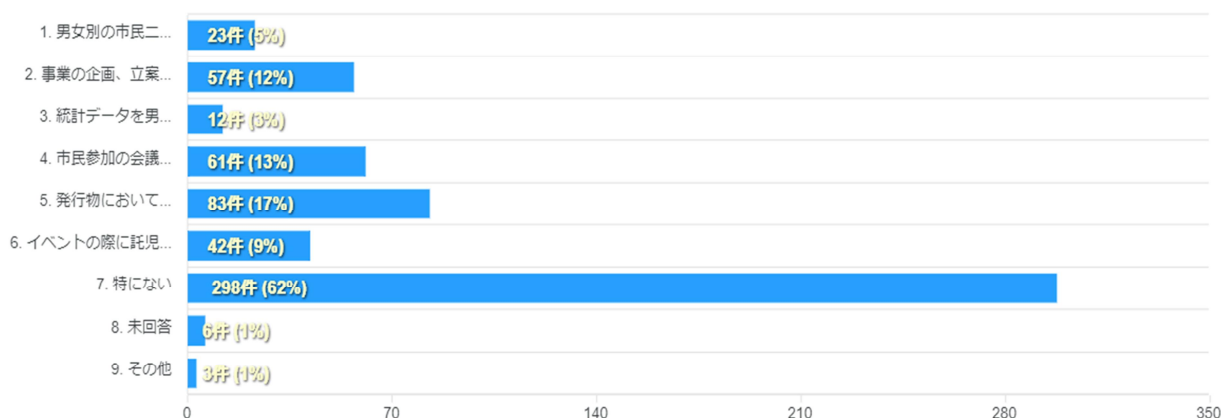
問 32 あなたは、「知立市男女共同参画プラン」について知っていますか。(○は1つだけ)

知立市男女共同参画プランの認知度は、全体で「プランが存在していることは知っている」が45%と最も高く、次いで「プランがあることを知らなかった」が25%となっています。



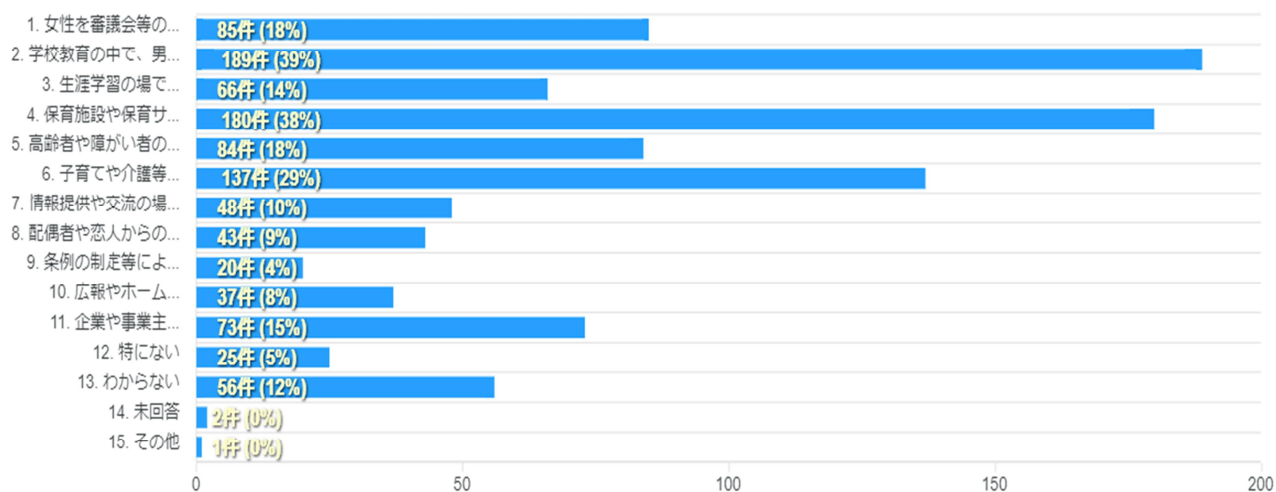
**問 33 あなたは業務の中で男女共同参画の視点から気をつけていることがありますか。
(あてはまるものすべてに○)**

業務の中で気をつけていることは、全体で「特にない」が62%と最も高く、次いで「発行物において固定的な性別役割分担に基づく表現をしないようにしている」が17%となっています。



問 34 あなたは、男女共同参画社会の実現に向けて、行政として知立市は今後どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(○は3つまで)

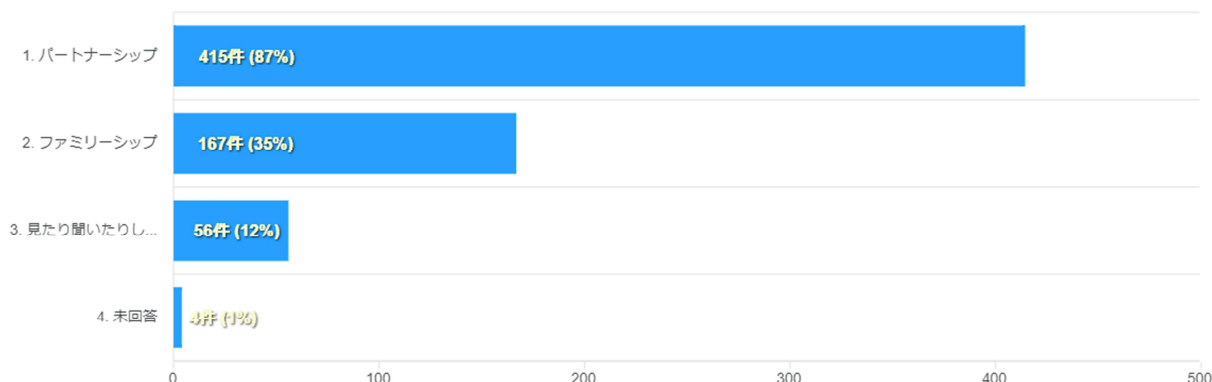
今後、力を入れていくべきだと思うことは、全体で「学校教育の中で、男女平等や男女共同参画についての教育を進める」が39%と最も高く、次いで「保育施設や保育サービス等の子育て支援を充実する」が38%となっています。



問 35 次にあげる言葉のうち、あなたが見たり聞いたりしたことがどれですか。

(あてはまるものすべてに○)

「パートナーシップ」を見聞きしたことがあるのは全体として87%、「ファミリーシップ」を見聞きしたことがあるのは35%となっています。



問 36 あなたは、「次世代育成支援対策推進法及び女性活躍推進法に基づく知立市特定事業主行動計画」について知っていますか。(○は1つだけ)

次世代育成支援対策推進法及び女性活躍推進法に基づく知立市特定事業主行動計画の認知度は、全体で「計画があることを知らなかった」が63%と最も高く、次に「計画が存在していることは知っている」が24%となっています。

